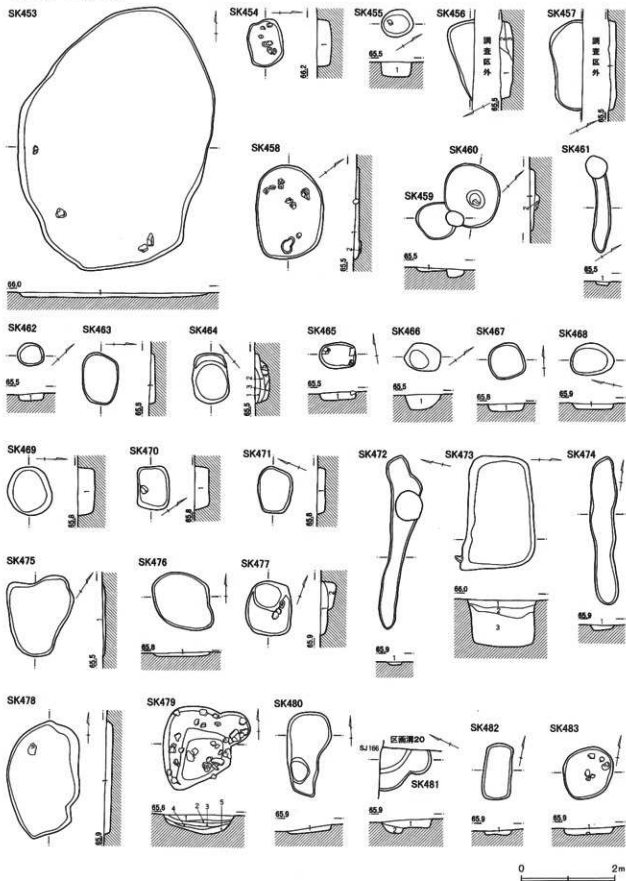


第708図 土壇 (15)

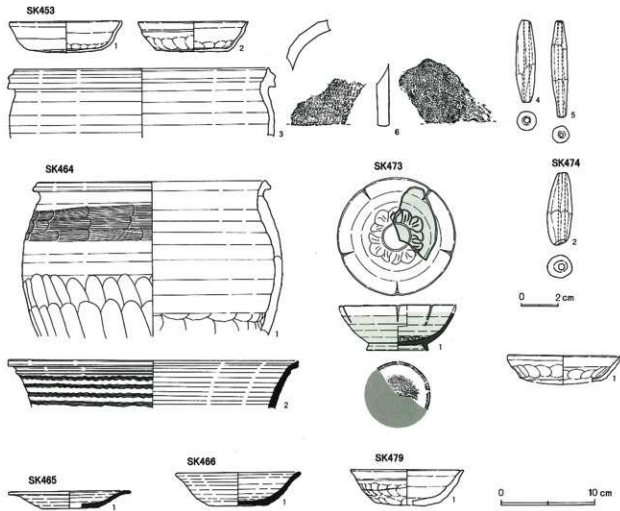


第709図 土壌 (15) 出土遺物

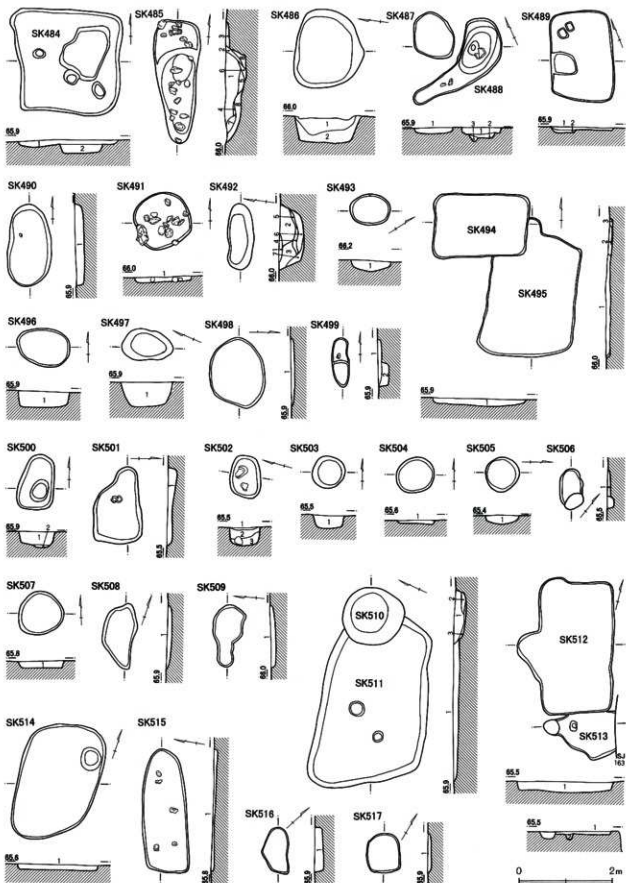
- 第452号土壌
1 暗褐色土 焼土、日曜石を少量含む 粘性あり
- 第453号土壌
1 暗褐色土 焼土、日曜石を少量含む、砂を多量に含む
- 第454号土壌
1 暗褐色土 堆山よりやや細く 粘性あり
- 第455号土壌
1 暗褐色土 焼土粒子を少量含む、底層付近に暗褐色土を含む 粘性あり
- 第456号土壌
1 暗褐色土 焼土を多量に含む、炭、日曜石、砂を少量含む
2 暗褐色土 日曜石を少量含む
3 暗褐色土 白色粒子を多量に含む 粘性あり
- 第457号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む 粘性あり
- 第458号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む
2 暗褐色土 焼土を少量含む
- 第459号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む
- 第460号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量に含む、炭を少量含む 粘性あり
2 暗褐色土 焼土を少量含む
- 第462号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を少量含む
- 第463号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を含む 粘性あり

- 第464号土壌
1 暗褐色土 焼土粒子、炭化粒子を多量に含む
2 暗褐色土 硝子色粘土を含む
3 暗褐色土 硝子色粘土に黄褐色土を含む
4 暗褐色土 炭化粒子を少量含む
5 暗褐色土 白色粒子を少量含む
- 第465号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含む
- 第466号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を少量含む
- 第467号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を含む 堆山よりやや細かい
- 第468号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含む 粘性あり
- 第469号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を含む 堆山よりやや細かい
- 第470号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を含む 堆山よりやや細かい
- 第471号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を含む
- 第472号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を少量含む 粘性あり
- 第473号土壌
1 黒色土 焼土、炭化物、砂利、礫を多量に含む
2 黒褐色土 焼土粒子、炭化物を多量に含む、小砂利を少量含む
3 暗褐色土 焼土、炭化物を少量含む、河原石を多量に含む 粘性あり

- 第474号土壌
1 暗褐色土 炭化粒子、白色粒子を少量含む
- 第475号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む、日曜石を含む
- 第476号土壌
1 暗褐色土
- 第477号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭、日曜石を少量含む 堆山よりやや細かい
2 暗褐色土 炭化粒子、白色粒子を少量含む
- 第478号土壌
1 暗褐色土 焼土粒子、炭化粒子を少量含む
- 第479号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、炭を少量含む
2 暗褐色土 硝子色ブロックを少量含む 粘性あり
3 暗褐色土 焼土を多量に含む、暗褐色土を少量含む 粘性あり
4 暗褐色土 焼土を少量含む 粘性あり
5 暗褐色土 堆山よりやや細く 粘性あり
- 第480号土壌
1 暗褐色土 焼土粒子、炭化粒子を少量含む 粘性あり
- 第481号土壌
1 暗褐色土 焼土を多量、炭を少量含む 粘性あり
2 暗褐色土 焼土、炭を少量含む 粘性あり
- 第482号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含む



第710図 土壇 (16)

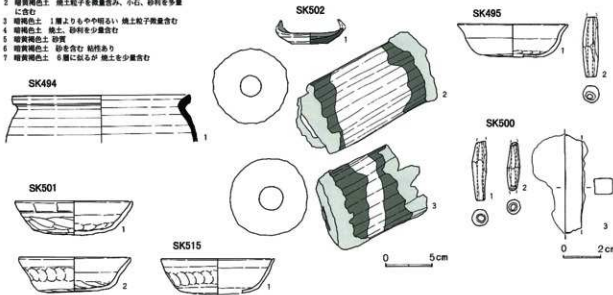


第711図 土壌 (16) 出土遺物

- 第483号土壌
1 暗黄褐色土 焼土を多量に含む
- 第484号土壌
1 暗灰褐色土 焼土を少量含む
2 暗褐色土 焼土を少量含む
- 第485号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、B粒石を多量に含む
2 暗灰褐色土 焼土、炭化粒子を多量に含む 粘性あり
3 暗黄褐色土 砂利を多量に含む 粘性あり
4 暗黄褐色土 B粒石を多量に含む
5 暗黄褐色土 B粒石を少量含む 粘性あり
6 暗黄褐色土 焼土を少量含む 粘性あり
7 暗黄褐色土 B粒石を少量含む 粘性あり
8 暗黄褐色土 河原石を多量に含む
- 第486号土壌
1 褐色土 焼土粒子、炭化物を多量に含む、小砂利を少量含む
2 暗茶褐色土 焼土、炭化物を少量含む、河原石を多量に含む 粘性あり
- 第487号土壌
1 暗黄褐色土 焼土を少量含む、B粒石を含む 砂質
- 第488号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、B粒石、砂を多量に含む 砂質
2 暗褐色土 炭を少量含む、砂利を多量に含む
3 暗黄褐色土 白色粒子を少量含む
- 第489号土壌
1 暗褐色土 焼土、B粒石を少量含む、砂を多量に含む
2 暗褐色土 焼土、砂を少量含む
- 第490号土壌
1 暗灰褐色土 砂利を多量に含む 粘性あり
- 第491号土壌
1 黒褐色土 焼土粒子、炭化物を多量に含む
- 第492号土壌
1 暗褐色土 B粒石を少量含む
2 暗黄褐色土 焼土粒子を少量含む、小石、砂利を多量に含む
3 暗褐色土 1層よりやや明るい 焼土粒子を少量含む
4 暗褐色土 焼土、砂利を少量含む
5 暗黄褐色土 砂質
6 暗黄褐色土 砂を含む 粘性あり
7 暗黄褐色土 6層に似るが 焼土を少量含む

- 第493号土壌
1 暗黄褐色土 焼土を少量含む 炭化物層 下層は河原石を多量に含む(砂利層)
- 第494号土壌
1 暗褐色土 焼土、B粒石を少量含む 砂質
- 第495号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、B粒石を多量に含む 砂質
2 暗褐色土 焼土を少量含む、B粒石を含む
3 褐色土 B粒石を少量含む
- 第496号土壌
1 暗灰褐色土 B粒石、河原石を少量含む 砂質
- 第497号土壌
1 暗褐色土 B粒石を少量含む
- 第498号土壌
1 暗褐色土 B粒石を少量含む
- 第499号土壌
1 暗褐色土 焼土、B粒石を少量含む
2 暗黄褐色土 焼土を少量含む、白色粒子を少量含む
- 第500号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭化物を少量含む
2 黒褐色土 焼土、炭化物を少量含む 粘性あり
- 第501号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含む
- 第502号土壌
1 暗黄褐色土 焼土、炭化物を少量含む、B粒石を含む
2 暗褐色土 焼土を少量含む、炭化物を少量含む
3 暗褐色土 焼土を少量含む、炭化物を多量に含む フラップ 口など含む層
- 第503号土壌
1 暗灰褐色土 焼土粒子を少量含む、砂を多量に含む 粘性あり
- 第504号土壌
1 暗褐色土 焼土を多量に含む、炭を少量含む

- 第505号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む 粘性あり
- 第506号土壌
1 暗褐色土 焼土粒子、炭化粒子、砂を少量含む
- 第507号土壌
1 褐色土 焼土、炭化物を少量含む、B粒石を含む
- 第508号土壌
1 暗黄褐色土 焼土、炭を少量含む、炭化物ブロックを少量含む
- 第509号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、B粒石、砂利、河原石を多量に含む
- 第510号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭化物を少量含む、B粒石を含む
2 暗褐色土 焼土、炭化物を少量含む、B粒石を含む
3 褐色土 焼土を多量に含む、炭化物を少量含む
- 第511号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む
- 第512号土壌
1 暗褐色土 焼土を多量、炭を少量含む 粘性あり
- 第513号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、炭を少量含む
2 暗黄褐色土 炭を少量含む、白色粒子を少量含む
- 第514号土壌
1 暗黄褐色土 焼土を多量に含む 底面は一面の河原石
- 第515号土壌
1 暗灰褐色土 焼土、炭化物を少量含む、B粒石を含む
- 第516号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含む、黄褐色土ブロック、B粒石を含む



3は、土師器の坏AVIである。4は、土師器の坏ANである。6は、灰粘陶器の高台付椀である。7は、土師器の鉢である。8・9は、土師器の甕である。10は、須恵器(S)の広口壺である。

第571号土壌の1は、土師器の皿Aである。

第573号土壌の1は、土師器の坏ANである。

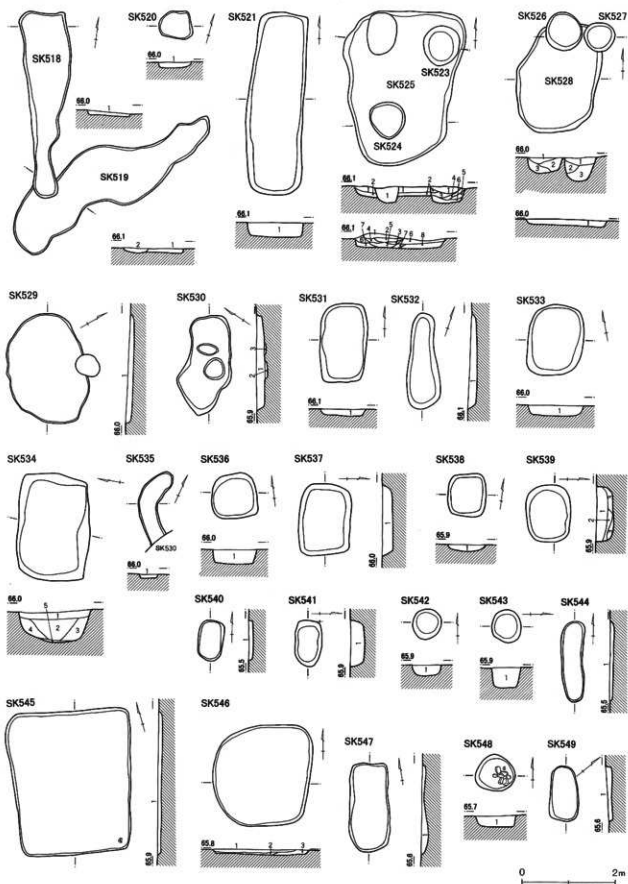
第581号土壌の1は、土師器の坏Cである。

土壌 (19) の出土遺物 (第717図)

第611号土壌の1は、須恵器(NS)の高台付椀である。

第618号土壌の1は、須恵器(S)の蓋である。2

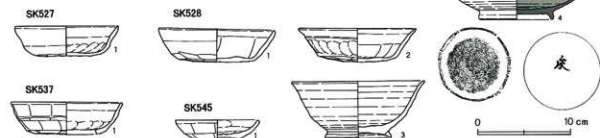
第712図 土壇 (17)



第713図 土壌 (17) 出土遺物

- 第517号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む、B粒石を含む
- 第518号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭化物を少量含むB粒石を少量含む
- 第519号土壌
1 褐色土 焼土、炭化物を微量含むB粒石を少量含む
2 暗褐色土 焼土、炭化物を少量含むB粒石を少量含む
- 第520号土壌
1 暗褐色土 焼土を微量含む、B粒石、砂利、河原石を少量含む
- 第521号土壌
1 暗褐色土 地山よりやや明るい砂質(砂利層)
- 第523号土壌
1 暗褐色土 焼土、小石を少量、炭を少量含む 砂質
2 暗褐色土 砂質
3 暗褐色土 焼土、炭を少量含む
4 暗褐色土 焼土、炭を微量含む 砂質
5 暗褐色土 砂利主体 焼土を少量含む
6 暗褐色土 層よりやや明るい暗褐色土を少量含む
- 第524号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む 粘りあり
2 赤褐色土 粘土層
- 第525号土壌
1 暗褐色土 炭を少量含む 粘りあり
2 黒褐色土 焼土を少量、炭を少量含む 粘りあり
3 暗褐色土 焼土を少量、炭を少量含む 粘りあり
4 暗褐色土 砂利主体 焼土、炭を少量含む
5 暗褐色土 焼土を少量含む、河原石を少量含む 粘りあり(砂利層)
6 暗褐色土 地山よりやや明るく暗褐色土を少量含む(砂利層)
- 第526号土壌
1 暗褐色土 砂利主体 焼土を微量含む
2 暗褐色土 暗褐色土を少量含む、砂を少量含む 粘りあり
3 暗褐色土 河原石を少量含む 砂質
- 第527号土壌
1 暗褐色土 砂利主体 焼土を微量含む
2 暗褐色土 暗褐色土を少量含む、砂を少量含む 粘りあり
3 暗褐色土 河原石を少量含む 砂質
- 第528号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、砂利を少量含む
- 第529号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を微量含む、B粒石を含む
- 第530号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、炭を少量含む
2 暗褐色土 焼土、炭を少量含む
3 暗褐色土 炭化粒子を微量、白色粒子を少量含む
- 第531号土壌
1 暗褐色土 砂利主体 暗褐色土を少量含む
- 第532号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、砂を少量含む 地山よりやや明るい 粘りあり
- 第533号土壌
1 暗褐色土 焼土を微量含む、砂を少量含む
- 第534号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭、砂利、小石を少量含む
2 暗褐色土 焼土を少量含む、砂利、小石を少量含む、河原石を微量含む
3 暗褐色土 焼土を少量含む、炭を少量含む
4 暗褐色土 焼土を微量含む、焼土を少量含む
5 暗褐色土 焼土、炭、砂利を少量含む 粘りあり
- 第535号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を含む
- 第536号土壌
1 暗褐色土 焼土を微量含む 粘りあり
- 第537号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を微量含む、炭を少量含む

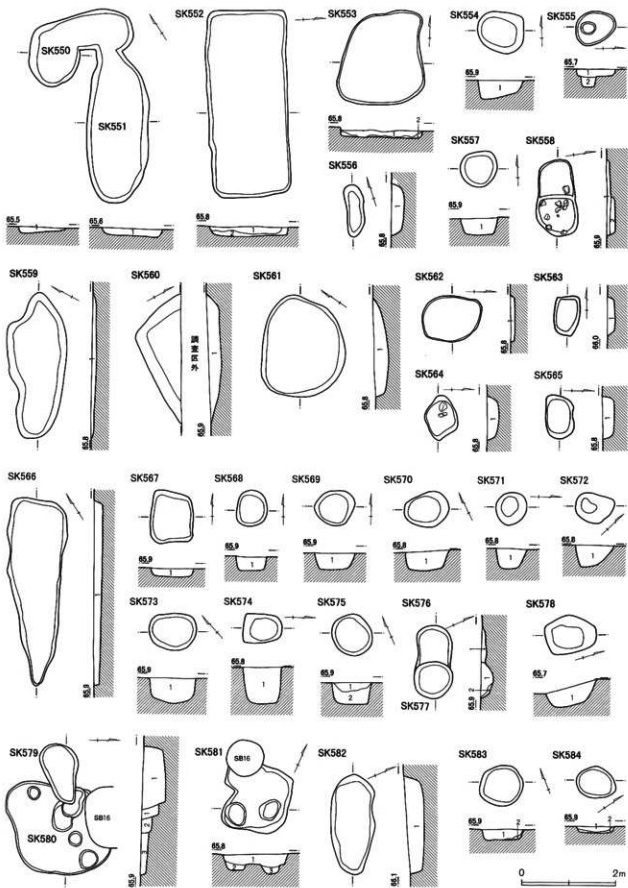
- 第538号土壌
1 暗褐色土 砂を少量含む
- 第539号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、砂利を少量含む
2 暗褐色土 河原石、砂利を少量含む 粘りあり
3 暗褐色土 砂利層
- 第540号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭化物を微量含む
- 第541号土壌
1 暗褐色土 砂を少量含む
- 第542号土壌
1 暗褐色土 焼土、砂を少量含む
- 第543号土壌
1 暗褐色土 砂利を少量含む
- 第544号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む
- 第545号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭化物を少量含む、B粒石を少量含む 砂質
- 第546号土壌
1 暗褐色土 白色粒子、砂を少量含む
2 暗褐色土 自然砂を少量含む 粘りあり
3 暗褐色土 河原石を少量含む、砂を少量含む 粘りあり
- 第547号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭化物を含む
- 第548号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、砂を少量含む 粘りあり
- 第549号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を含む



第555表 土壌 (20) 出土土錐観察表 (1)

番号	色	調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
1		橙	90		1.5	0.5	8.0	C 1	I b	255	SK 629
2	黄	橙	70		1.3	0.3	6.0	C 1	II a	256	SK 629
2	黄	橙	100	5.3	1.4	0.6	14.0	C 1	I a	258	SK 631
3	に	ぶ	100	4.2	1.3	0.4	5.6	C 1	I c	257	SK 629
3	黄	橙	100	5.3	1.8	0.4	13.9	C 1	I a	259	SK 631
4	黄	橙	100	5.4	1.7	0.4	13.2	C 1	I a	260	SK 631
5		橙	100	5.4	1.7	0.6	13.2	C 1	I a	261	SK 631
6	黄	橙	100	5.4	1.6	0.4	12.5	C 1	I a	262	SK 631
7	に	ぶ	90	5.5	1.6	0.3	11.3	C 1	I b	263	SK 631
8		橙	100	5.4	1.5	0.3	11.6	C 1	I a	264	SK 631
9	に	ぶ	100	5.2	1.6	0.5	11.4	C 1	I a	265	SK 631
10		橙	100	4.1	1.7	0.3	11.0	C 1	I a	266	SK 631
11		橙	100	5.2	1.7	0.6	10.3	C 1	I a	267	SK 631
12	に	ぶ	100	5.2	1.2	0.5	11.5	C 1	I a	268	SK 631
13	に	ぶ	100	5.2	1.7	0.4	10.7	C 1	I a	269	SK 631
14		橙	100	5.2	1.6	0.4	10.3	C 1	I b	270	SK 631

第714図 土壇 (18)

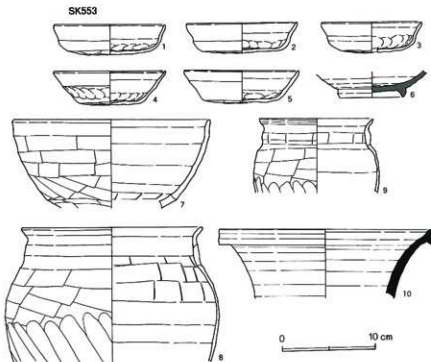
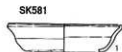


第715図 土壌 (18) 出土遺物

- 第550号土壌
1 黒褐色土 白色粒子を含む
- 第551号土壌
1 黒褐色土 白色粒子を含む
- 第552号土壌
1 暗灰褐色土 焼土を微量、目録石、砂を多量に含む
2 暗褐色土 砂利を多量に含む
- 第553号土壌
1 暗褐色土 焼土、目録石を多量に含む
2 暗黄褐色土 炭を微量含む、白色粒子を多量に含む
- 第554号土壌
1 暗灰褐色土 砂利、河原石を多量に含む
- 第555号土壌
1 暗褐色土 焼土、目録石を多量に含む
2 暗黄褐色土 炭、炭を少量含む
- 第556号土壌
1 暗灰褐色土 目録石を少量含む、砂を多量に含む
- 第557号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む 粘性あり
- 第558号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、砂利を多量に含む
2 暗灰褐色土 砂利玉体
- 第559号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む
- 第560号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む 砂質
- 第561号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、河原石、砂利を多量に含む 粘性あり
- 第562号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む

- 第563号土壌
1 暗褐色土 地山よりやや暗い 焼土を微量含む 砂質
- 第564号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む
- 第565号土壌
1 暗褐色土 目録石を少量含む、砂を多量に含む
- 第566号土壌
1 暗褐色土 砂質 暗灰褐色土を含む
- 第567号土壌
1 暗褐色土 焼土を微量含む 砂質
- 第568号土壌
1 暗褐色土 砂、河原石玉体 焼土、炭を微量に含む
- 第569号土壌
1 暗褐色土 砂、河原石玉体 焼土、炭を微量に含む
- 第570号土壌
1 暗褐色土 目録石を少量含む、砂を多量に含む
- 第571号土壌
1 暗褐色土 焼土、目録石を少量含む
- 第572号土壌
1 暗褐色土 砂質 粘性あり
- 第573号土壌
1 暗褐色土 焼土を微量含む、暗灰褐色土を部分的に少量含む 砂質 粘性あり
- 第575号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む、砂利、河原石を微量含む
2 灰褐色土 砂利、礫玉体 焼土、炭を微量含む

- 第576号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を多量に含む、砂利を微量含む
- 第577号土壌
1 暗褐色土 焼土を少量含む、炭を多量に含む、砂利を微量含む
2 暗褐色土 焼土、炭を微量含む、砂利を多量に含む
- 第578号土壌
1 暗褐色土 炭、焼土を少量含む、石、砂を多量に含む
- 第579号土壌
1 暗黄褐色土 焼土粒子、炭を微量含む、白色粒子を多量に含む
- 第580号土壌
1 暗褐色土 炭を少量含む、白色粒子を多量に含む 粘性あり
2 暗褐色土 焼土、炭、砂利を多量に含む
3 灰褐色土 砂利、礫玉体
- 第581号土壌
1 暗褐色土 焼土を微量含む 砂質
2 暗褐色土 砂を少量含む
3 暗褐色土 砂を多量に含む
- 第582号土壌
1 暗褐色土 砂質 暗灰褐色土を含む
- 第583号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む、砂利、河原石を微量含む
2 暗褐色土 焼土、炭を微量含む、砂利を多量に含む
- 第584号土壌
1 暗褐色土 焼土、炭を少量含む、砂を微量含む
2 暗褐色土 砂利を微量含む



は、灰粘陶器の長頸壺である。

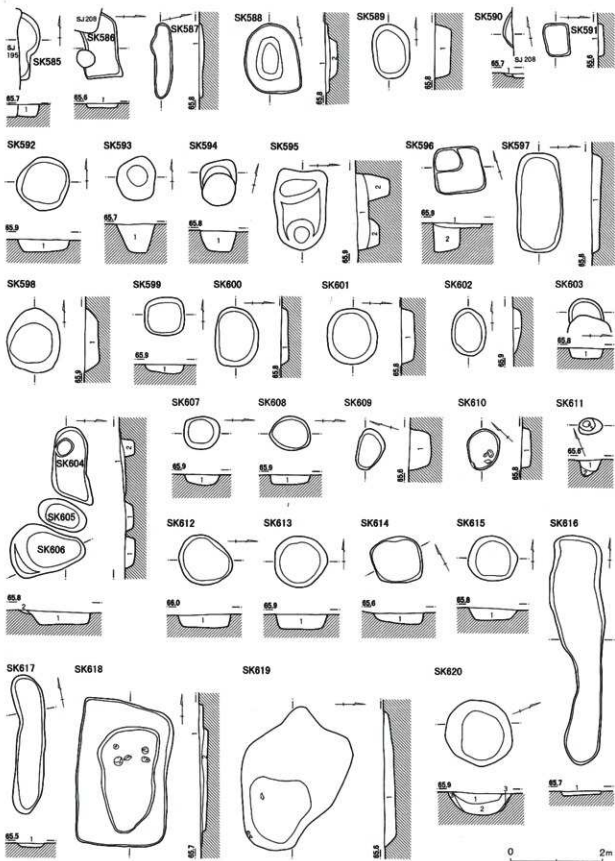
第619号土壌の1は、須恵器 (HS) の高台付椀である。2は、須恵器 (S) の蓋である。3は、緑粘陶器の陰刻花文高台付椀である。

第620号土壌の1は、土師器の坏Cである。

第648号土壌遺物出土状況 (第721図)

Q-23グリッドで確認された。第219号住居跡、第

第716图 土壤 (19)

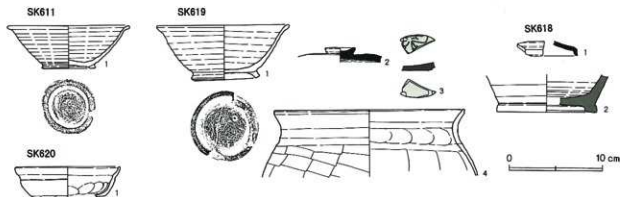


第717図 土壌 (19) 出土遺物

- 第585号土壌
1 暗褐色土 粘土を多量に含み、炭を微量含む
- 第586号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む
- 第587号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む 砂質
- 第588号土壌
1 暗褐色土 粘土、炭を少量含む
2 暗褐色土 白色粒子を含む
- 第589号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を含む
- 第590号土壌
1 暗褐色土 粘土、B層石を少量含む
- 第591号土壌
1 暗褐色土 地山よりやや暗い
- 第592号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む、砂利、河原石を多量に含む
炭屑付泥ほど砂質
- 第593号土壌
1 暗褐色土 砂を多量に含む
- 第594号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を含む 粘性あり
- 第595号土壌
1 暗褐色土 砂利主体
2 暗褐色土 砂を多量に含み、暗褐色土を少量含む
- 第596号土壌
1 暗褐色土 粘土を多量に含み、炭を微量含む
2 暗褐色土 粘土を微量含む
- 第597号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む 砂質

- 第598号土壌
1 黒褐色土 砂利を多量に含む
- 第599号土壌
1 暗褐色土 粘土を多量に含み、炭、石を微量含む 砂質
- 第600号土壌
1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む 砂質
- 第601号土壌
1 暗褐色土 粘土を多量に含み、炭を微量含む 炭屑にコブより1回り大きい石が見られる
- 第602号土壌
1 暗褐色土 粘土、B層石を少量含む
- 第603号土壌
1 暗褐色土 粘土、炭を少量含む 粘性あり
- 第604号土壌
1 暗褐色土 粘土を多量に含み、炭、暗褐色ブロックを少量含む
2 暗褐色土 砂を少量含む 粘性あり
- 第605号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む 下層は暗褐色ブロックを含む 粘性あり
- 第606号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む 下層は暗褐色ブロックを含む 粘性あり
2 暗褐色土 砂を少量含む 粘性あり
- 第607号土壌
1 暗褐色土 砂利を多量に含む
- 第608号土壌
1 暗褐色土 粘土を微量含む、砂利を多量に含む
- 第609号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む 粘性あり

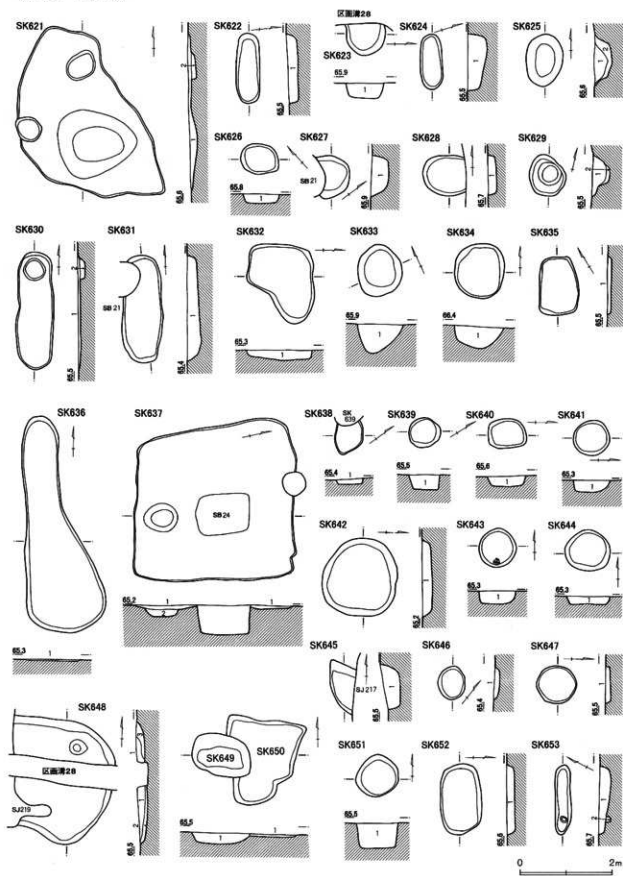
- 第610号土壌
1 暗褐色土 粘土を微量に含み、砂利を多量に含む
- 第611号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む 粘性あり
2 暗褐色土 粘土を微量含む
- 第612号土壌
1 暗褐色土 砂利を多量に含む
- 第613号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む、砂、小石を多量に含む
- 第614号土壌
1 暗褐色土 粘土を微量含む 砂質 粘性あり
- 第615号土壌
1 暗褐色土 砂利主体 中間に暗褐色土、粘土がサンドイッチ状に入る
- 第616号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む、白色粒子を多量に含む 砂質
2 暗褐色土 粘土を少量含む、白色粒子を多量に含む 砂質
- 第617号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む、白色粒子を多量に含む 砂質
- 第618号土壌
1 暗褐色土 粘土、B層石を少量含む
2 暗褐色土 粘土、白色粒子を微量含む
- 第619号土壌
1 暗褐色土 粘土を微量含む 砂質
- 第620号土壌
1 暗褐色土 粘土を多量に含み、B層石、小石を少量含む 砂質
2 暗褐色土 粘土を多量に含む 1層よりやや暗い色を帯び 粘性あり
3 暗褐色土 粘土を微量含む、白色粒子を多量に含む 砂質



第556表 土壌 (20) 出土土錘観察表 (2)

番号	色	調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他		
1	に	ぶ	い	橙	100	3.8	0.8	0.4	2.3	C 3	I b	713	SK 634
2	に	ぶ	い	橙	100	3.9	0.9	0.3	2.4	C 2	I b	576	SK 634
3	に	ぶ	い	橙	100	3.1	0.8	0.3	1.4	C 3	I c	714	SK 634
4	に	ぶ	い	黄	60		0.7	0.3	1.3	C 2	II a	577	SK 634
15				橙	100	5.0	1.5	0.5	10.4	C 1	I b	271	SK 631
16	黄			橙	100	5.0	1.7	0.6	10.5	C 1	I a	272	SK 631
17				橙	100	4.8	1.6	0.5	8.8	C 1	I a	273	SK 631
18				橙	100	4.8	1.7	0.4	9.6	C 1	I b	274	SK 631
19				橙	80		1.5	0.5	8.4	C 1	II a	275	SK 631
20				橙	60	4.4	1.6	0.5	10.2	C 1	II a	276	SK 631
21	に	ぶ	い	橙	100	4.2	1.6	0.4	8.5	C 1	I a	277	SK 631
22				橙	100	4.4	1.1	0.5	4.8	C 2	I a	572	SK 631
23	に	ぶ	い	橙	100	3.8	1.2	0.5	4.4	C 2	I b	573	SK 631
24	に	ぶ	い	橙	100	4.1	1.1	0.4	4.4	C 2	I a	574	SK 631
25				橙	100	4.2	1.1	0.5	4.3	C 2	I a	575	SK 631

第718図 土坑 (20)



第719図 土壌 (20) 出土遺物 (1)

第6 2 1号土層
1 暗褐色土 暗灰褐色土を少量含む、砂粒を多数に含む
2 黒褐色土 砂粒を多数に含む

第6 2 2号土層
1 暗褐色土 黄土を多数に含む、暗灰褐色土を少量含む
粘性あり

第6 2 3号土層
1 暗褐色土 砂、小石を多数に含む、暗灰褐色土を少量含む

第6 2 4号土層
1 暗褐色土 目録石を少量含む、砂を多数に含む

第6 2 5号土層
1 暗褐色土 砂粒主体 粘性あり
2 暗黄褐色土 1層より6層厚石を多数に含む

第6 2 6号土層
1 暗褐色土 目録石を少量含む

第6 2 7号土層
1 暗褐色土 砂、小石を多数に含む、暗灰褐色土を少量含む

第6 2 8号土層
1 暗褐色土 砂質

第6 2 9号土層
1 暗黄褐色土 黄土を多数に含む、砂を少量含む 粘性あり
2 暗褐色土 黄土、炭を少量含む 砂質

第6 3 0号土層
1 暗褐色土 黄土、目録石を少量含む
2 暗褐色土 目録石、砂を少量含む

第6 3 1号土層
1 暗褐色土 黄土、炭を微量含む、暗黄褐色土、砂を少量含む

第6 3 2号土層
1 暗褐色土 暗黄褐色土、大形礫を少量含む

第6 3 3号土層
1 暗褐色土 小石を多数に含む、黄土を微量含む

第6 3 4号土層
1 暗黄褐色土 白色粘子を含む

第6 3 5号土層
1 暗褐色土 黄土を多数に含む

第6 3 6号土層
1 暗黄褐色土 白色粘子を多数に含む

第6 3 7号土層
1 暗褐色土 黄土を少量含む
2 暗褐色土 砂粒を多数に含む

第6 3 8号土層
1 暗黄褐色土 黄土を少量含む、白色粘子を多数に含む

第6 3 9号土層
1 暗褐色土 黄土、炭を少量含む、白色粘子を多数に含む
砂質 粘性あり

第6 4 0号土層
1 暗褐色土 黄土、砂、小石を少量含む

第6 4 1号土層
1 暗黄褐色土 黄土を少量含む、白色粘子を多数に含む
砂質

第6 4 2号土層
1 暗褐色土 暗黄褐色土、大形礫を少量含む

第6 4 3号土層
1 暗黄褐色土 白色粘子を含む

第6 4 4号土層
1 暗褐色土 暗黄褐色土、大形礫を少量含む

第6 4 5号土層
1 暗褐色土 砂粒主体 黄土を少量含む、炭化物を微量含む、暗灰褐色土をブロッツ状に含む

第6 4 6号土層
1 暗褐色土 黄土を少量含む、炭屑付近に小豆色の粘子を多数に含む

第6 4 7号土層
1 暗黄褐色土 黄土を微量含む、白色粘子を多数に含む
砂質

第6 4 8号土層
1 暗褐色土 黄土、砂を多数に含む、炭を少量含む
2 暗褐色土 黄土を微量含む 粘性あり
3 暗黄褐色土 小石を少量含む、白色粘子を多数に含む

第6 4 9号土層
1 暗褐色土 黄土、砂を多数に含む

第6 5 0号土層
1 暗褐色土 砂粒主体

第6 5 1号土層
1 暗褐色土 黄土を微量含む、炭を微量含む 砂質

第6 5 2号土層
1 暗褐色土 白色粘子を含む 粘性あり

第6 5 3号土層
1 暗褐色土 砂質
2 暗褐色土 黄土を多数に含む 砂質

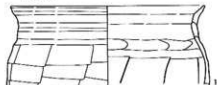
SK822



SK631

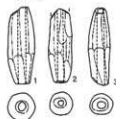


SK632

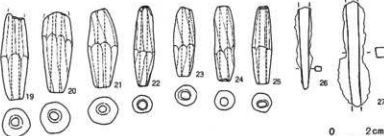
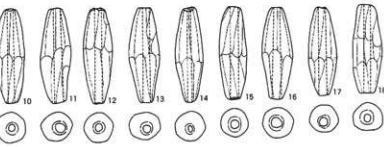
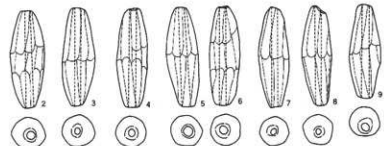
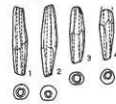


0 5 cm

SK629

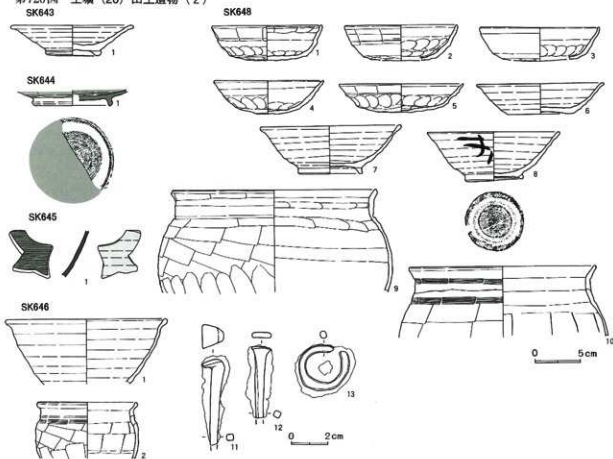


SK634



0 2 cm

第720図 土壌 (20) 出土遺物 (2)



28号区画溝との重複により不明な点が多い。

推定される形状は楕円または長方形で、やや浅い。北西コーナー付近から浅い円形の掘り込みが検出された。底面は舟底状である。

覆土は3層で、第1層には焼土を多量に含む。

遺物は、覆土中、および底面から出土した。土師器杯、須恵器杯などの供養具のほか、土師器甕 (9・10) が2点出土している。破片が多く、投棄されたものと思われる。時期は中畑V期で、第29号区画溝を境に、南側には大形の第223号住居跡を中心とした堅穴住居群が形成される時期である。

土壌 (20) の出土遺物 (第719図・第720図)

第622号土壌の1は、須恵器 (HS) の蓋である。

第629号土壌の1から3は、土錘である。

第631号土壌の1は、須恵器 (S) の蓋である。2

から25は、土錘である。26は釘、27は棒状鉄製品である。

第632号土壌の1は、土師器の甕である。

第634号土壌の1から4は、土錘である。

第643号土壌の1は、須恵器 (HS) の高台付皿である。

第644号土壌の1は、灰釉陶器の高台付皿である。

第645号土壌の1は、緑釉陶器の高台付椀である。

第646号土壌の1は、須恵器 (HS) の高台付椀である。2は、土師器の甕である。

第648号土壌の1から5は、土師器の杯である。1・2は、杯ANである。3は、杯AVである。4・5は、杯AMである。6は、須恵器 (HS) の椀である。7・8は、須恵器 (NS) の高台付椀である。9・10は、土師器の甕である。11・12は、釘である。13は、環状鉄製品である。

土壌 (21) の出土遺物 (第721図)

第657号土壌の1は、延板状鉄製品である。

第665号土壌の1は、鉸具の破片と考えられる。

第668号土壌の1は、土師器の坏AⅤである。2は、棒状鉄製品である。

第670号土壌の1は、土師器の坏Cである。2は、土錘である。

第671号土壌の1は、灰粘陶器の高台付碗である。2は、土錘である。

第672号土壌の1は、須恵器 (HS) の高台付碗である。

第679号土壌の1は、須恵器 (HS) の碗である。

第686号土壌の1は、黒色土器の碗である。

第688号土壌の1は、須恵器 (HS) の碗である。

2は、灰粘陶器の高台付碗である。3は、土錘である。

第711号土壌の1は、須恵器 (NS) の碗である。

2は、須恵器 (HS) の碗である。

土壌群について

重複の激しい土壌については、土壌群として扱い、

土壌群内の個々の土壌をアルファベットの大字で表記した。

第1土壌群 (第725図)

I-15・16・J-15・16グリッドで確認された。

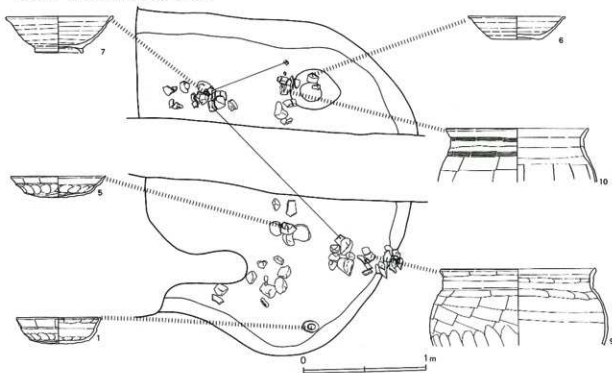
第40号掘立柱建物跡の西側に位置する。遺構が非常に密に分布しており、確認作業は困難を極めた。土壌は全部で21基検出され、そのうち2基 (第719・720号土壌) からは大甕が出土した。(第Ⅳ章3-(10) 大甕出土の土壌参照)

土壌の長軸方向は、西に10°～15°振れるG～M土壌と、ほぼ真北方向をとるA・B・E・N・O・P・R・719・720号土壌、東に約90°振れるC・D・F・S土壌の3者がみられる。

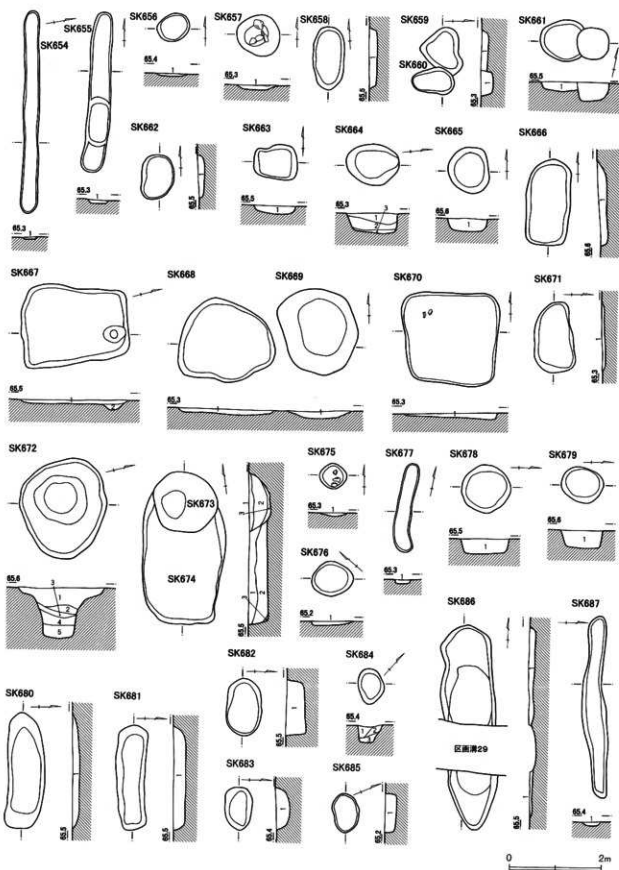
第1土壌群の時期は、中堀Ⅴ～Ⅵ期で、第155・161・163号住居跡および、南側の第23・24号区画溝、西側の第40号掘立柱建物跡が同時期である。

遺物は、各土壌から土師器、須恵器、灰粘陶器の食膳具類を中心に多量に出土しているが、時期差はあまりみられないことから、これらの土壌は短期間に次々

第721図 第648号土壌遺物出土状態



第722图 土壤 (21)

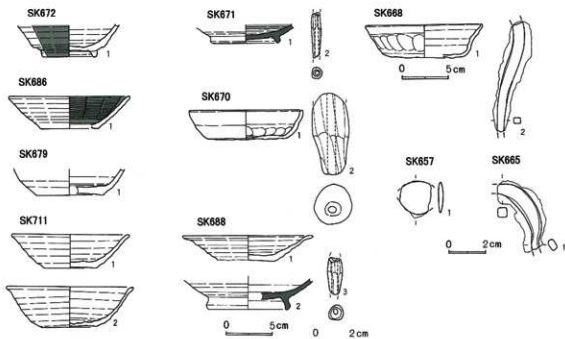


第723図 土壌 (21・22) 出土遺物

- 第654号土壌
1 暗黄褐色土 白色粘土を多量に含む
- 第655号土壌
1 暗褐色土 粘土を微量含む砂質
- 第656号土壌
1 暗褐色土 粘土、日曜石を少量含む
- 第657号土壌
1 暗褐色土 粘土、日曜石を少量含む
- 第658号土壌
1 黒褐色土 砂主体
- 第659号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む、砂を多量に含む
- 第660号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む、砂を多量に含む
- 第661号土壌
1 暗褐色土 砂利を多量に含む 砂質
- 第662号土壌
1 暗褐色土 砂利を多量に含む 砂質
- 第663号土壌
1 暗黄褐色土 砂利を多量に含む 砂質
- 第664号土壌
1 暗黄褐色土 粘土、砂、白色粘土を多量に含む
2 暗褐色土 炭を微量含む、暗黄褐色土を少量含む 粘性あり
3 暗灰褐色土 砂主体 粘性あり
- 第665号土壌
1 暗褐色土 砂利を多量に含む 砂質
- 第666号土壌
1 暗黄褐色土 白色粘土を多量に含む、砂を少量含む

- 第667号土壌
1 黒褐色土 粘土を少量含む、砂利を多量に含む
2 暗褐色土 砂利主体
- 第668号土壌
1 暗褐色土 粘土、炭化物を多量に含む 粘性あり
- 第669号土壌
1 黒褐色土 粘土、炭化物を微量含む 粘性あり
- 第670号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む 砂質
- 第671号土壌
1 暗褐色土 粘土、炭を少量含む
- 第672号土壌
1 黒褐色土 砂礫を多量に含む
2 黒色土 炭化物を多量に含む
3 黒褐色土 2層に厚炭 炭化物を少量含む
4 暗灰褐色土 砂利を多量に含む
5 褐色土 砂礫を多量に含む
- 第673号土壌
1 暗灰褐色土 砂礫を多量に含む
2 黒褐色土 粘土、砂礫を含む
3 黒褐色土 砂、礫を多量に含む
- 第674号土壌
1 暗褐色土 砂礫を多量に含む
2 暗灰褐色土 砂礫を多量に含む
3 褐色土 砂礫を少量含む
- 第675号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む
- 第676号土壌
1 暗褐色土 砂を少量含む

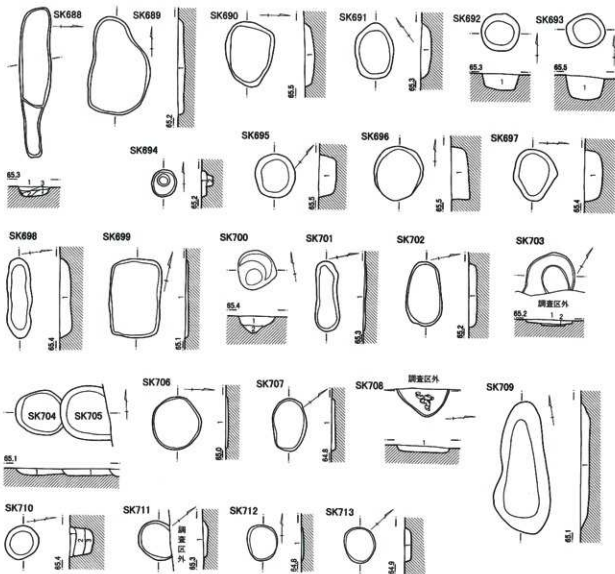
- 第677号土壌
1 暗黄褐色土 白色粘土を多量に含む
- 第678号土壌
1 暗褐色土 砂を多量に含む 粘性あり
- 第679号土壌
1 暗褐色土 粘土を微量、暗褐色土、砂利を少量含む
- 第680号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む、礫を多量に含む 砂質
- 第681号土壌
1 暗褐色土 粘土を少量含む、砂を多量に含む
- 第682号土壌
1 暗灰褐色土 砂利、大形礫を多量に含む
- 第683号土壌
1 暗褐色土 粘土を微量含む、砂利を少量含む
- 第684号土壌
1 暗褐色土 炭、砂を多量に含む
2 暗褐色土 粘土を微量含む、砂利を少量含む
3 暗黄褐色土 I-2層より粘性あり
- 第685号土壌
1 暗褐色土 白色粘土を含む
- 第686号土壌
1 暗褐色土 粘土を多量に含む
- 第687号土壌
1 黒褐色土 粘土、炭、日曜石を少量含む



第557表 土壌 (21) 出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
2	にぶい 橙	60		2.1	0.4	15.5	B 1	II a	83	
2	にぶい 橙	70		0.4	0.3	0.7	C 3	II b	715	
3	橙	30		0.8	0.3	0.8	C 2	III b	578	

第724図 土壌 (22)



第688号土壌

- 1 暗褐色土 粘土、砂を少量含む、炭を微量含む
- 2 暗褐色土 粘りあり
- 3 暗褐色土 小豆色粒子を少量含む、暗褐色土をプロック状に少量含む

第689号土壌

- 1 暗褐色土 粘土を少量含む 粘りあり

第690号土壌

- 1 暗褐色土 粘土、白色粒子を少量、砂を多量に含む

第691号土壌

- 1 暗褐色土 粘土、白色粒子を少量含む

第692号土壌

- 1 暗褐色土 粘土、炭を微量含む

第693号土壌

- 1 暗褐色土 砂利主体 部分的に暗褐色土を含む

第694号土壌

- 1 暗褐色土 粘土を少量含む
- 2 暗褐色土 白色粒子を少量含む

第695号土壌

- 1 暗褐色土 砂を多量に含む 粘りあり

第696号土壌

- 1 暗褐色土 礫石を少量、砂利を多量に含む 砂質

第697号土壌

- 1 暗褐色土 粘土、炭を少量含む 砂質

第698号土壌

- 1 暗褐色土 砂利主体 部分的に暗褐色土を含む

第699号土壌

- 1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む

第700号土壌

- 1 暗褐色土 白色粒子を少量含む、砂、河原石を少量含む
- 2 暗褐色土 砂利主体 暗褐色土を少量含む

第701号土壌

- 1 暗褐色土 粘土、炭を微量に含む

第702号土壌

- 1 暗褐色土 粘土質

第703号土壌

- 1 暗褐色土 粘土を少量含む 粘りあり
- 2 暗褐色土 砂利主体 暗褐色土を少量含む

第704号土壌

- 1 暗褐色土 砂利主体 粘土を微量含む

第705号土壌

- 1 暗褐色土 砂利主体 粘土を微量含む

第706号土壌

- 1 暗褐色土 白色粒子を少量含む

第707号土壌

- 1 暗褐色土 小豆色粒子を多量に含む 粘りあり

第708号土壌

- 1 暗褐色土 白色粒子、大形礫を含む

第709号土壌

- 1 暗褐色土 砂利層

第710号土壌

- 1 暗褐色土 砂、河原石を少量含む 粘りあり

第711号土壌

- 1 暗褐色土 白色粒子を多量に含む、砂、河原石を少量含む
- 2 暗褐色土 砂利主体 暗褐色土を少量含む

第712号土壌

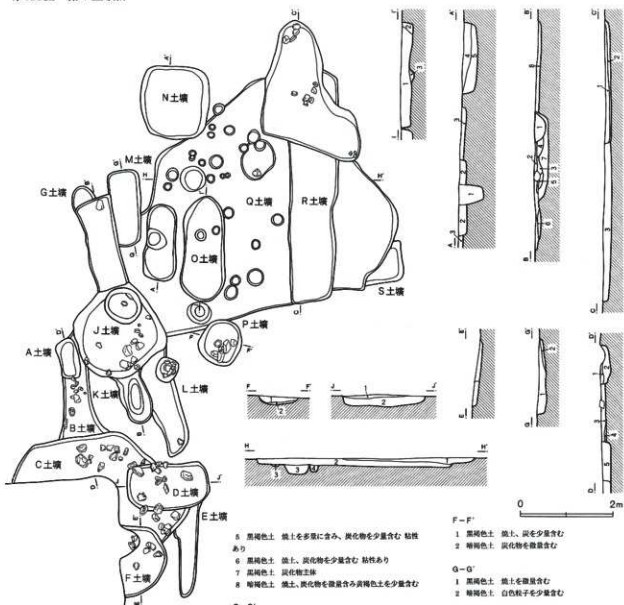
- 1 暗褐色土 粘土、炭を少量含む、砂利を多量に含む

第713号土壌

- 1 暗褐色土 小豆色粒子を多量に含む 粘りあり



第725図 第1土壌群



第1土壌群

A-A'

- 1 黒褐色土 腐土、炭化物を多量に含む
- 2 暗褐色土 腐土を多量に含む、炭を少量含む
- 3 暗褐色土 腐土、炭を少量含む
- 4 黒褐色土 腐土、炭化物を少量含む
- 5 暗灰色土 腐土を少量含む

B-B'

- 1 暗褐色土 腐土を多量に含む、炭化物を少量含む
- 2 黒褐色土 腐土、炭化物を多量に含む
- 3 黒褐色土 腐土、炭を少量含む
- 4 暗褐色土 腐土を多量に含む、炭を少量含む

- 5 黒褐色土 腐土を多量に含む、炭化物を少量含む 粘性あり
 - 6 黒褐色土 腐土、炭化物を少量含む 粘性あり
 - 7 黒褐色土 炭化物主層
 - 8 暗褐色土 腐土、炭化物を少量含む 炭褐色土を少量含む
- C-C'
- 1 暗褐色土 腐土を少量含む
 - 2 暗黄褐色土 腐土を少量含む、白色粒子を少量含む 粘性あり
 - 3 暗褐色土 腐土、炭を多量に含む
- D-D'
- 1 暗褐色土 腐土を多量に含む、炭を少量含む
 - 2 暗黄褐色土 腐土を少量含む 粘性あり
 - 3 暗褐色土 腐土、炭を多量に含む
 - 4 暗黄褐色土 腐土を少量含む 粘性あり
 - 5 暗褐色土 腐土、炭を少量含む 粘性あり
- E-E'
- 1 暗褐色土 腐土を多量に含む、炭を少量含む

F-F'

- 1 黒褐色土 腐土、炭を少量含む
- 2 暗褐色土 炭化物を少量含む

G-G'

- 1 黒褐色土 腐土を少量含む
- 2 暗褐色土 白色粒子を少量含む

H-H'

- 1 暗褐色土 腐土、炭を多量に含む
- 2 暗褐色土 腐土、炭を少量含む
- 3 暗褐色土 白色粒子を少量含む
- 4 暗褐色土 腐土を少量含む

I-I'

- 1 暗褐色土 腐土、炭を少量含む
- 2 暗褐色土 腐土、炭化物を少量含む
- 3 暗褐色土 腐土を少量含む

J-J'

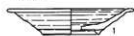
- 1 暗褐色土 腐土を少量含む、炭化物を少量含む
- 2 黒褐色土 腐土、炭を少量含む

第558表 第1土壌群出土土鍾観察表

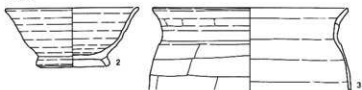
番号	色	調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置	その他
39		褐	90		0.9	0.3	13	C 2	V b	579	SK-J	
41	に	い	褐	30		1.7	0.5	125	C 1	716	SK-M	

第726図 第1土壌群出土遺物(1)

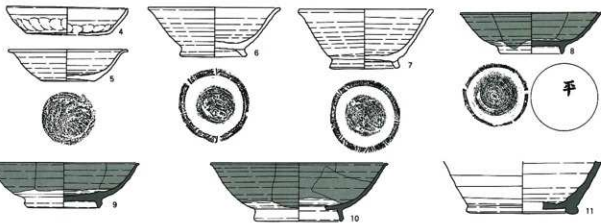
A土壌



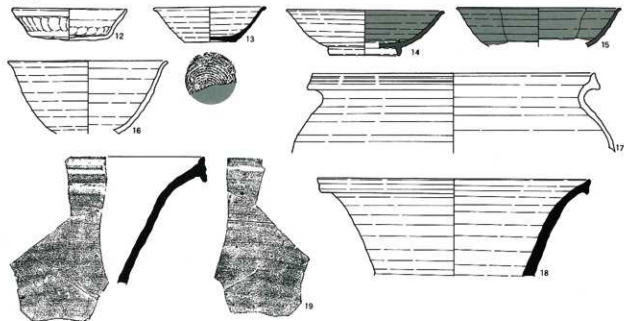
B土壌



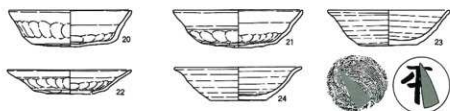
C土壌



D土壌



F土壌



H土壌



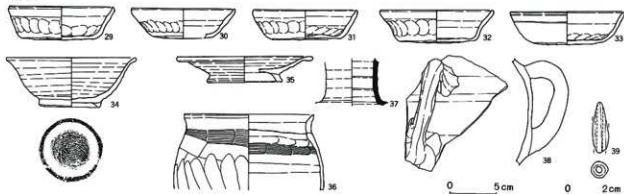
0 10 cm

第727図 第1土壌群出土遺物(2)

I土壌



J土壌



M土壌



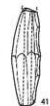
N土壌



Q土壌



O土壌



0 2 cm

0 2 cm



48



0 5 cm

と造られていったものと思われる。

A土壌の1は、須恵器(HS)の高台付皿である。

B土壌の2は、須恵器(NS)の高台付碗である。

3は、土師器の甕である。

C土壌の4は、土師器の坏AVである。5は、須恵

器(NS)の碗である。6・7は、須恵器(NS)の

高台付碗である。8から10は、灰釉陶器の高台付碗である。11は、灰釉陶器の長頸壺である。

D土壌の12は、土師器の坏AVである。13は、須恵器(S)の碗である。14・15は、灰釉陶器の高台付碗である。16は、須恵器(HS)の高台付碗である。17は、須恵器(HS)の鉢である。18・19は、須恵器(S)

第728図 第2土壌群・出土遺物

第2土壌群

A-A'

1 暗黄褐色土 粘土を多量に含み、B群石を少量含む 粘性あり

B-B'

1 暗褐色土 粘土を多量に含み、B群石を少量含む
2 暗黄褐色土 粘土を少量含み、小豆色の砂子を少量含む

C-C'

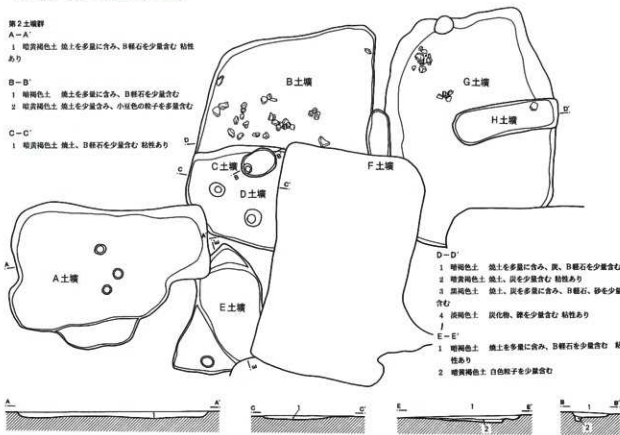
1 暗黄褐色土 粘土、B群石を少量含む 粘性あり

D-D'

1 暗褐色土 粘土を多量に含み、炭、B群石を少量含む
2 暗黄褐色土 粘土、炭を少量含む 粘性あり
3 灰褐色土 粘土、炭を多量に含み、B群石、砂を少量含む
4 灰褐色土 炭化物、礫を少量含む 粘性あり

E-E'

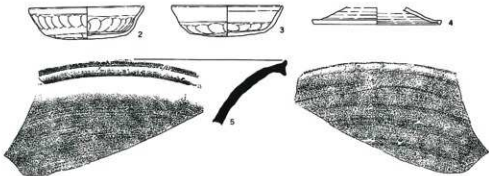
1 暗褐色土 粘土を多量に含み、B群石を少量含む 粘性あり
2 暗黄褐色土 白色砂子を少量含む



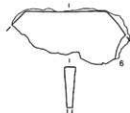
A土壌



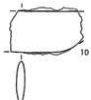
B土壌



E土壌



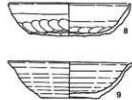
H土壌



F土壌



G土壌



0 2cm

0 5cm

の大甕である。

F土壌の20は、土師器の坏AVである。21は、土師器の坏ANである。22は、土師器の皿Bである。23・24は、須恵器(NS)の碗である。23の底部外面には、「平」と墨書がみられる。

H土壌の25は、把手である。

I土壌の26は、坏AVである。27は、須恵器(HS)の高台付碗である。28は、須恵器(S)の甕である。

J土壌の29から33は、土師器の坏である。29・30・32は、坏AVである。31・33は、坏ANである。34は、須恵器(NS)の高台付碗である。須恵器(HS)の、高台付皿である。35は、須恵器(HS)の高台付皿である。36は、土師器の甕である。37は、須恵器(S)の長頸壺である。38は、須恵器(NS)の双耳壺の把手である。39は、土錘である。

M土壌の40は、土師器の坏AVである。41は、土錘である。

N土壌の42は、灰釉陶器の長頸壺である。

O土壌の43は、須恵器(S)の碗である。44は、灰釉陶器の高台付碗である。

Q土壌の45・46は、灰釉陶器の高台付皿である。47は、灰釉陶器の耳皿である。48は、須恵器(S)の大甕である。49・51は、板状・延板状鉄製品である。50は、銅製品である。

第2土壌群(第728回)

Q-22・23・R-22・23・S-22・23グリッドで確認された。

第58号掘立柱建物跡と第223号住居跡の間に位置する。浅く不整形な掘り込みや、住居跡が重複し、確認作業は困難であった。

検出された土壌は8基で、深さは0.08m~0.22mといずれも浅い。覆土も類似するため、切り合い関係は明確には把握できなかった。

時期は、中堀M~V期で、第220・221・223号住居跡と同時期である。

遺物は土師器坏、須恵器坏、須恵器蓋、大甕口縁部

などが少量出土した。そのほか鉄製品(1・6・10)が出土している。

A土壌の1は、棒状鉄製品である。

B土壌の2・3は、土師器の坏ANである。

4は、須恵器(HS)の蓋である。5は、須恵器(S)の大甕である。

E土壌の6は、板状鉄製品である。

F土壌の7は、土師器の坏AIIである。

G土壌の8は、土師器の坏ANである。9は、須恵器(HS)の碗である。

H土壌の10は、延板状鉄製品である。

第3土壌群(第729回)

R-23・24・S-23・24グリッドで確認された。

第223号住居跡の南東側に位置する。浅く不整形な掘り込みが、住居跡や小穴と激しく重複し、確認作業は困難であった。

検出された土壌は19基で、F・G・N土壌を除いて、深さ0.05m~0.22mと浅い。覆土も類似し、切り合い関係は明確に把握できなかった。

第3土壌群からは、第15~17号鍛冶炉跡に関連すると思われる、土壌が3基検出された。

D土壌は焼土が集中している部分である。明確な掘り込みはみられなかったが、焼土の一部は流れ込むように、C土壌内からも出土している。

H土壌には鉄滓が集中し、10cmほど盛り上がっている。明確な掘り込みはみられず、周囲に被熱の痕跡もみられないことから、鉄滓を捨てたものと思われる。H土壌の西側2.2mに第15号鍛冶炉跡が位置する。

I土壌は掘り込みが深く、覆土には炭化物や焼土、砂を多量に含んでいる。I土壌の北側1mに第16号鍛冶炉跡が位置する。

そのほか、A土壌は細長く長軸方向が、第63号掘立柱建物跡の桁方向とはほぼ平行することから、雨落溝とも考えられるが、北側の柱筋からやや距離があり土壌と半断した。

時期はIII~V期で、第227号住居跡・第670号土壌と

第729図 第3土壌群

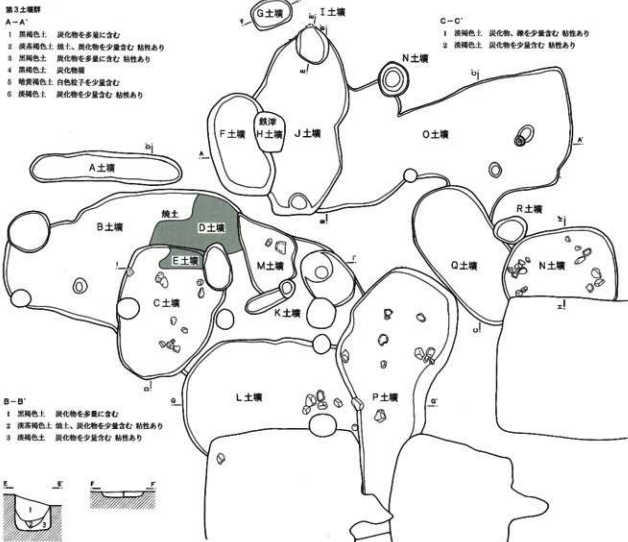
第3土壌群

A-A'

- 1 灰褐色土 炭化物を多量に含む
- 2 淡黄褐色土 炭化物を少量含む 粘性あり
- 3 灰褐色土 炭化物を多量に含む 粘性あり
- 4 灰褐色土 炭化物を多量に含む
- 5 暗黄褐色土 白色粒子を少量含む
- 6 灰褐色土 炭化物を少量含む 粘性あり

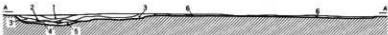
C-C'

- 1 淡褐色土 炭化物、礫を少量含む 粘性あり
- 2 淡褐色土 炭化物を少量含む 粘性あり



B-B'

- 1 灰褐色土 炭化物を多量に含む
- 2 淡黄褐色土 炭化物を少量含む 粘性あり
- 3 淡褐色土 炭化物を少量含む 粘性あり



D-D'

- 1 暗黄褐色土 粘性あり
- 2 灰褐色土 礫土、炭化物を少量含む
- 3 暗褐色土 礫土を少量含む、礫を含む

F-F'

- 1 暗褐色土 礫土、炭を少量含む 粘性あり

G-G'

- 1 淡褐色土 炭化物を少量含む 粘性あり
- 2 淡黄褐色土 礫土、炭化物を少量含む 粘性あり

I-I'

- 1 暗褐色土 礫土、炭を多量含む 粘性あり
- 2 淡黄褐色土 礫土、炭化物を少量含む 粘性あり
- 3 灰褐色土 炭化物を多量に含む
- 4 灰褐色土 礫土、鉄滓を少量含む
- 5 暗褐色土 礫土、炭化物を少量含む
- 6 暗黄褐色土 白色粒子を少量含む 粘性あり

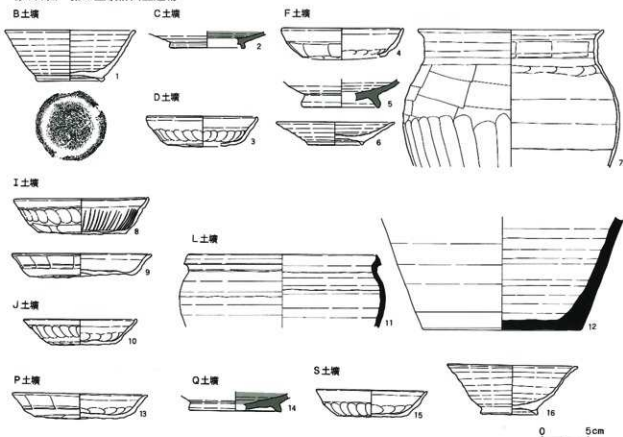
E-E'

- 1 灰褐色土 礫土、鉄滓を少量含む、礫を多量含む
- 2 暗黄褐色土 白色粒子を少量含む 粘性あり
- 3 礫土 炭を多量に含む

H-H'

- 1 淡褐色土 炭化物を少量含む 粘性あり

第730図 第3土壌群出土遺物



同時期である。

遺物は、土師器杯、須恵器高台付椀、須恵器高台付皿、灰釉陶器、須恵器鉢、須恵器壺、土師器甕などが少量出土した。

B土壌の1は、須恵器(NS)の高台付椀である。

C土壌の2は、灰釉陶器の高台付皿である。

D土壌の3は、土師器の杯ANである。

F土壌の4は、土師器の杯AIである。5は、灰釉陶器の高台付椀である。6は、灰釉陶器の高台付皿である。7は、土師器の甕である。

I土壌の8は、土師器の暗文土器である。9は、土師器の皿Aである。

J土壌の10は、土師器の杯ANである。

L土壌の11は、須恵器(S)の鉢である。12は、須恵器(S)の壺である。

P土壌の13は、土師器の皿Bである。

Q土壌の14は、灰釉陶器の高台付椀である。

S土壌の15は、土師器の杯ANである。16は、須恵

器(NS)の高台付椀である。

第4土壌群(第731図)

U-23・24グリッドで確認された。

第229号住居跡の東側に接するように位置する。深い不整形の掘り込みが重複し、確認は困難であった。

検出された土壌は12基で、A・C土壌を除いて、深さ0.22m～0.56mと深い。

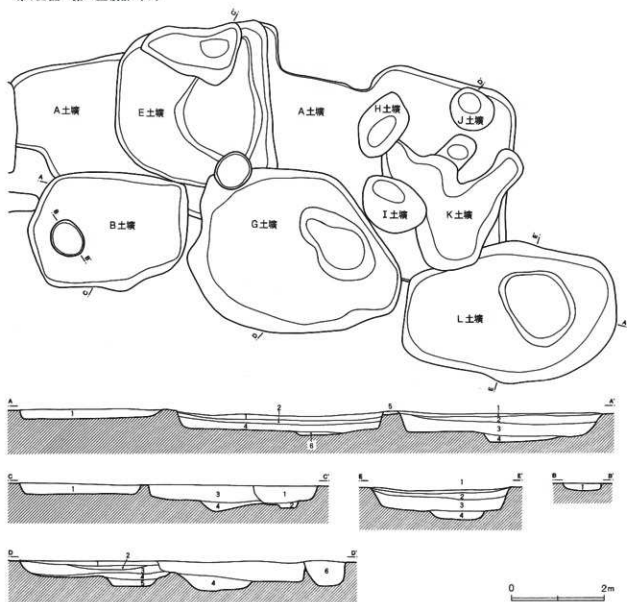
A土壌は土壌群全体におよぶ広く浅い土壌で、A土壌を中心に次々と土壌が造られていったと思われるが、覆土が類似していて切り合い関係は明確に把握できなかった。特に、H～L土壌にかけては、第247号住居跡と重複し、遺物の帰属など不明な点が多い。

A土壌とB土壌から馬歯が出土していることが特筆される。

時期は中畑IV～V期で、第229・230・232・246・248・252号住居跡が同時期である。

遺物はL土壌を中心に、土師器、須恵器、灰釉陶器

第731図 第4土壌群(1)



第4土壌群

A-A'

- 1 黒褐色土 焼土、炭化物を少量、日軽石を多量に含む砂質
- 2 暗褐色土 焼土、炭を少量含む
- 3 暗褐色土 焼土を少量含む、炭を微量含む
- 4 暗黄褐色土 白色粘土を少量含む 粘性あり
- 5 暗褐色土 焼土、炭、日軽石を微量含む
- 6 暗黄褐色土 大形石、白色粘土を少量含む 粘性あり

B-B'

- 1 黒褐色土 焼土を多量に含む

C-C'

- 1 暗褐色土 焼土、炭、日軽石を少量含む
- 2 暗褐色土 焼土を微量含む
- 3 暗黄褐色土 白色粘土を少量含む 粘性あり
- 4 暗黄褐色土 大形石、白色粘土を少量含む 粘性あり

E-E'

- 1 黒褐色土 焼土、炭化物を少量、日軽石を多量に含む砂質
- 2 暗褐色土 焼土、炭を少量含む
- 3 暗褐色土 焼土を少量含む、炭を微量含む
- 4 暗黄褐色土 白色粘土を少量含む 粘性あり

D-D'

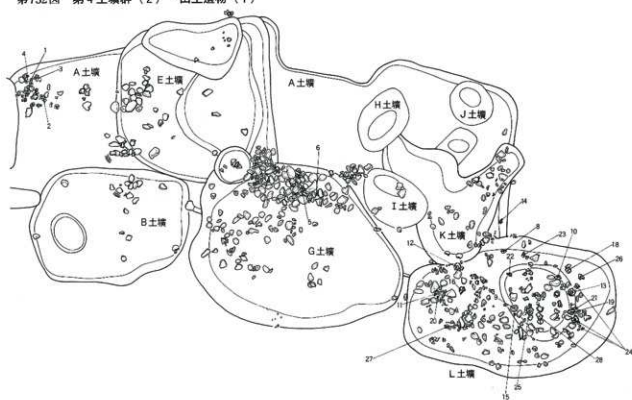
- 1 黒褐色土 焼土、炭化物を少量、日軽石を多量に含む砂質
- 2 暗褐色土 焼土、炭を少量含む
- 3 暗褐色土 焼土を少量含む、炭を微量含む
- 4 暗黄褐色土 白色粘土を少量含む 粘性あり
- 5 暗黄褐色土 大形石、白色粘土を少量含む 粘性あり
- 6 暗褐色土 焼土、炭を微量含む

の食膳具や須恵器鉢、大甕、土師器甕、土錘、鉄製品、凝灰岩切片など多量に出土している。また、A土壌とB土壌から馬歯が出土している。(第N章3-(12)参照)

A土壌の1は、土師器の皿Bである。2は、須恵器(S)の碗である。3は、須恵器(NS)の碗である。4は、須恵器(NS)の高台付碗である。

G土壌の5は、土師器の坏AMである。6は、灰釉

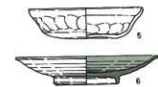
第732図 第4土壌群(2)・出土遺物(1)



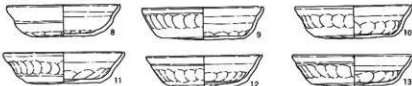
A土壌



G土壌

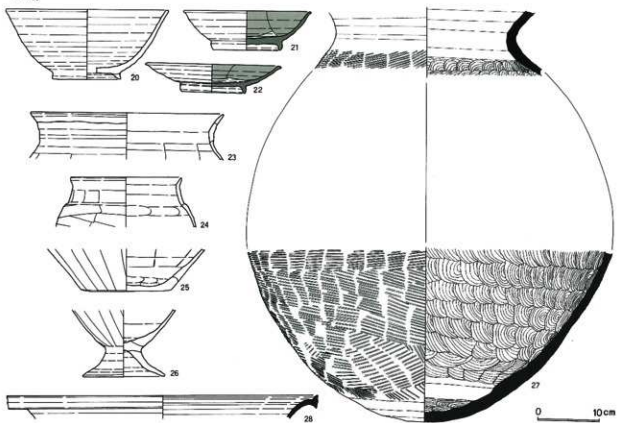


L土壌

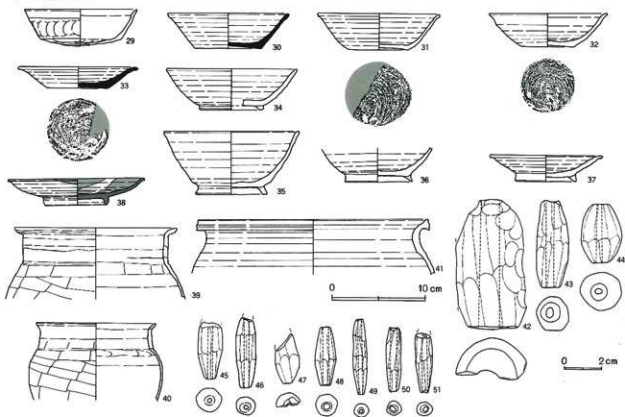


第733图 第4土坑群出土文物(2)

L土坑

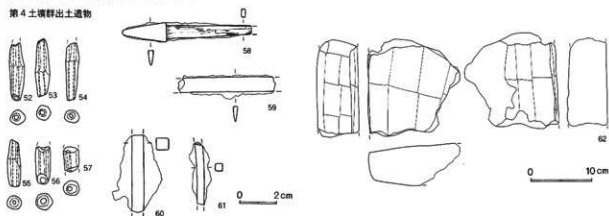


第4土坑群出土文物



第734図 第4土壌群出土遺物(3)

第4土壌群出土遺物



第559表 第4土壌群出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
42	にぶい橙	40				42.5	A 1	Ⅵ	26	
43	にぶい黄橙	100	4.6	1.7	0.6	127	B 1	I a	84	
44	にぶい橙	100	3.1	2.2	0.4	127	B 1	I a	85	
45	にぶい褐	50		1.4	0.3	4.5	C 2	Ⅱ a	580	
46							C 2	Ⅱ a	581	
47							C 1	Ⅶ	278	
48	灰黄褐	100	3.2	1.2	0.4	3.6	C 2	I a	582	
49	にぶい赤褐	100	4.0	0.8	0.2	1.9	C 3	I b	717	
50	橙	100	3.4	0.8	0.3	1.7	C 3	I b	718	
51	橙	60		0.8	0.2	1.9	C 3	Ⅱ b	719	
52							C 3	I b	720	
53	にぶい橙	100	3.1	0.8	0.2	1.7	C 3	I a	721	
54	にぶい橙	80		0.8	0.1	1.4	C 3	I b	722	
55							C 3	Ⅱ b	723	
56							C 3	Ⅲ b	724	
57	橙	30		0.9	0.2	0.7	C 3	Ⅶ	725	

陶器の高台付皿である。7は、須恵器(HS)の高台付碗である。

L土壌の8から14は、土師器の坏である。8は坏C、9・13は坏AN、14は坏BI、ほかは坏AVである。15は、須恵器(NS)の碗である。16は、須恵器(NS)の皿である。17・20は、須恵器(NS)の高台付碗である。18は、須恵器(S)の高台付碗である。

21は、灰粘陶器の高台付碗である。22は、灰粘陶器の高台付皿である。

23から26は、土師器の甕である。27は、須恵器(S)の甕である。28は、須恵器(S)の甕である。

29から62は、第4土壌群の一括資料である。

29は、土師器の坏AⅢである。

30は、須恵器(S)の碗である。31は、須恵器(HS)の碗である。32は、須恵器(NS)の碗である。

33は、須恵器(S)の皿である。34・36は、須恵器(NS)の高台付碗である。35は、須恵器(HS)の高台付碗である。37は、須恵器(NS)の高台付皿である。

38は、灰粘陶器の高台付皿である。

39・40は、土師器の甕である。

41は、須恵器(NS)の鉢である。

42から57は、土錘である。

58・59は、刀子である。

60・61は、棒状鉄製品である。

62は、凝灰岩の切石である。

第560表 土壌(1) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付碗	HS	11.3	4.4		6.1	B, E, G	良好		にぶい黄褐色	75	SK 3
2	高台付碗	HS	14.4				B, E	良好		白	60	SK 3
3	高台付皿	K				6.8	B, D	良好		灰 白	40	SK 3
1	高台付碗	HS	12.0	4.8		5.6	B, E, G	良好		明 褐色	50	SK 9
1	高台付碗	NS	11.6	5.2		6.1	B, E	良好		褐色 灰	90	SK 11
1	高台付碗	HS	11.6	4.1			B, E, I	良好		にぶい黄褐色	30	SK 13
2	高台付碗	HS	12.0	4.7		5.8	E, G, I	良好		明 褐色	50	SK 13
1	片口鉢	NS					B, G	普通		灰 白 (白に近い)		SK 19
1	蓋	S					D	良好		淡 灰	10	SK 23
2	高台付碗	M	13.5	6.3		8.1	B	普通		淡 灰	10	SK 23
3	双耳壺把手	HS					B, C	普通		緑	5	SK 23
4	大 壺	S					B	良好		青 灰	5	SK 23

第561表 土壌(2) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付碗	HS	12.8	5.9			B, E, G	良好		にぶい褐色	30	SK 34
2	高台付碗	HS				8.3	B, E, I	良好		にぶい黄褐色	10	SK 34
1	耳 皿	K		3.6		4.3	B	良好		淡 灰 緑	80	SK 47
1	坏 A IV	H	12.2	2.4		7.1	B, D, E, H	不 良		赤 褐色	20	SK 55

第562表 土壌(3) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 B V	H	10.6	4.0		3.3	B, E, H	普通		淡 黄 褐色	20	SK 61, 砂
1	高台付碗	NS	12.6				B	良好		黄 灰	25	SK 67
2	高台付碗	K				8.3	B, D	良好		灰 白	15	SK 67
3	菊花付高台付碗	M	14.3				C	良好		淡 緑	10	SK 67
1	坏 A IV	H	12.9	3.4		7.9	B, D, E, H	普通		褐色	60	SK 68
2	坏 A V	H	11.4	3.8		7.5	B, D, E, H	普通		暗 褐色	100	SK 68
1	坏 B V	H	11.7	4.5		3.8	B, E, H	良好		暗 褐色	60	SK 69, 砂
2	坏 B V	H	11.0	4.0		4.9	B, E, H	普通		淡 褐色	70	SK 69, 砂
1	壺	S					B, D, G	良好		青 灰	20	SK 73
1	壺 A III c	H	18.4				B, E	良好		褐色	20	SK 76
1	蓋	NS	13.6				B	普通		にぶい黄褐色	2	SK 81

第563表 土壌(4) 出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 B V	H	11.9	3.4		4.6	B, H	普通		淡 褐色	40	SK 107, 砂
2	碗	HS	11.8	4.4		5.9	B, C, E, I	良好		明 赤 褐色	50	SK 107
3	高台付碗	HS	14.7	5.0		7.1	B, E, I	普通		灰 黄 褐色	30	SK 107
1	碗	HS	11.8	4.6		5.7	B, E	良好		灰 黄 褐色	80	SK 109
2	高台付碗	HS	12.8	4.7		4.6	B, E, I	普通		灰 黄 褐色	75	SK 109
1	耳 皿	H				3.0	B, D, E, H	普通		黄 褐色	90	SK 113
2	高台付碗	M					B	普通		淡 緑	5	SK 113
1	坏 B V	H	12.4	4.2		4.4	B, E, H	普通		淡 褐色	100	SK 114, 砂
2	坏 D	H	13.8				B, D, E, H	普通		褐色	20	SK 114
3	碗	HS	10.4	3.2		5.1	B, E, I	良好		灰 褐色	80	SK 114
4	碗	HS	10.7	3.1		5.7	B, E, I	良好		にぶい黄褐色	60	SK 114
5	碗	NS	11.8	4.2		5.2	B, E, G	良好		灰 白	80	SK 114

第564表 土壇(4) 出土遺物観察表(2)

番号	器種	種別	口径	器高	鈿	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
6	高台付 碗	HS	11.4	4.7		5.8	B, E, G	普通		黄 灰	90	SK 114
7	高台付 碗	HS	11.6	4.7		5.9	B, E, I	良好		灰 黄	100	SK 114
8	輪花付高台付 碗	M					B	良好		淡 緑	5	SK 114
1	高台付 碗	NS	11.9	4.9		4.9	B, C, E	普通		黄 灰	70	SK 118
2	高台付 碗	HS	12.1	4.9		5.1	B, C, E, G, I	普通		灰 黄	70	SK 118
1	环 B V	H	11.0	3.7		4.9	B, C, E, H	普通		淡 橙	80	SK 119, 砂
2	环 B I	H	10.7	3.7		3.6	B, E, H	普通		淡 橙	50	SK 119
3	环 B I	H	12.1	4.2		5.5	B, D, E, H	普通		淡 橙	30	SK 119
4	碗	HS	11.7	4.7		6.2	B, E, G, I	良好		灰 白	85	SK 119
5	高台付 碗	HS	13.3	4.8		5.7	B, I	普通		灰 白	75	SK 119
1	环 B V	H	10.5	3.7		4.9	B, C, E	良好		淡 橙	80	SK 120
2	高台付 碗	K				5.1	B	良好		灰 白	30	SK 120

第565表 土壇(5) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈿	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付 碗	HS				7.2	B, E, I	良好		にぶい黄橙	20	SK 126
	碗	HS				5.0	B	良好		灰 黄 褐	10	SK 127
1	高台付 碗	HS	11.2	4.3		5.8	E, G, I	良好		灰 黄	25	SK 128
2	环 B V	H	11.2	3.9		5.8	B, D, E, H	普通		淡 橙	100	SK 129
1	环 A IV	H	12.3	4.0		6.7	B, D, E, H	普通		淡 橙	80	SK 131
2	环 A IV	H	12.5	3.9		5.6	B, D, E	普通		橙	80	SK 131
3	环 B IV	H	12.2	3.6		6.8	B, D, E, H	良好		赤 橙	90	SK 131
4	皿 B	H	12.4	2.7		6.1	B, E, H	良好		赤 橙	100	SK 131
5	高台付 碗	HS	12.7	5.2		5.1	B, E, I	良好		にぶい黄褐	100	SK 131
1	环 B I	H	13.2	4.3		7.1	B, D, E, H	普通		明 橙	50	SK 137, 砂
2	环 B II	H	13.0	4.0		5.2	B, E, H	普通		暗 褐	60	SK 137
3	环 B III	H	12.8	3.5		5.1	B, D, E, H	普通		暗 褐	70	SK 137
4	环 B II	H	12.1	4.0		5.4	B, E, H	普通		暗 黄 褐	20	SK 137
5	环 B I	H	11.8	4.0		4.8	B, D, E, H	普通		淡 橙	20	SK 137
6	环 B III	H	11.4	4.0		4.7	B, D, E, H	普通		暗 褐	80	SK 137
7	高台付 碗	NS	12.3	5.4		5.2	B, E, I	普通		灰 黄	60	SK 137
8	高台付 碗	NS	12.7	4.5		5.8	B, E, I	普通		淡 橙	30	SK 137
9	高脚高台付 碗	HS	14.8	5.5		8.1	B, E, I	普通		淡 黄	60	SK 137
10	高台付 皿	M				5.9	B	普通		淡 緑	10	SK 137
1	高台付 碗	NS	12.9	5.0		5.6	B, E, I	良好		灰 白	60	SK 138
2	高台付 碗	HS	13.0	4.9		5.7	B, C, I	良好		灰 褐	50	SK 138
3	台付 甕	H				9.8	B, E, H	普通		橙	100	SK 138
4	羽A II a 口	NS	30.9		27		B, E, H	普通		灰 白	15	SK 138
5	羽B II b 口	NS	18.5	26.9	47		B, E, H	普通		にぶい橙	90	SK 138
1	高台付 环 B	H	14.0	5.7		8.0	B, D, E, H	普通		暗 橙	60	SK 148
1	高台付 碗	HS				7.5	B, G	良好		(外) 淡黄橙 (内) 黑褐	20	SK 150
1	环 A VI	H	12.4	3.7		8.2	B, E, H	普通		淡 橙	80	SK 151
1	环 C	H	13.6	3.2		9.5	B, C, E, H	普通		淡 橙 白	50	SK 151
2	甕 B II イ	H	18.3				B, E, H	良好		にぶい黄橙	20	SK 152
3	羽A I b 口	HS	18.5		29		B, D, E, H	普通		褐 灰	10	SK 160
1	环 B V	H	10.6	4.5		3.4	B, D, E	良好		黄 橙	90	SK 129
1	碗	HS	9.7	2.9		5.0	B, D	普通		灰 黄	80	SK 160
2	高台付 碗	HS	11.7	5.3		5.8	B, D	普通		灰 黄	80	SK 160

第566表 土壌(6) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	輪轆	色調	残存	出土位置その他
1	碗	H S	12.2	4.7		5.2	B, E, I	良	好	灰 褐	80	SK 163
2	高台付碗	N S	11.3	4.2		5.8	B, E, G, I	良	好	灰 褐	100	SK 163
3	高台付碗(転用)	K				7.5		良	好	灰 褐	50	SK 163, 転用碗
1	高台付碗	K	17.4	3.5		7.6	B, D	良	好	灰 白	50	SK 169, 被熱
1	坏(暗文)	H				6.1	B, C, E	普	通	暗 茶	10	SK 171, 放射状暗文
1	碗	H S	10.9	3.5		5.2	B, E, G	良	好	にぶい橙	75	SK 173
1	蓋	S	12.4				B	良	好	灰	5	SK 175
1	碗	N S	10.8	3.7		5.3	B, E	良	好	灰 白	40	SK 178
2	高台付碗	N S	11.2	4.1		6.3	B, E, G	良	好	灰 白	90	SK 178
1	坏 B V	H	10.9	4.3		3.2	B, D, E, H	普	通	暗 橙	60	SK 182, 砂

第567表 土壌(7) 出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	輪轆	色調	残存	出土位置その他
1	耳	皿 N S				4.0	B, G	普	通	灰 白	80	SK 196
1	坏 B III	H	12.6	3.9		8.2	B, E, H	普	通	淡 黄 橙	20	SK 198
2	蓋	S	15.5				B, C	良	好	灰 白	5	SK 198
1	高台付碗	K	16.3	5.3		7.1	B	良	好	灰 白 (やや黄味)	100	SK 199
1	高台付碗	H S	10.8				E, I	普	通	浅 黄	5	SK 201
2	高台付坏	H				8.7	E, I	普	通	にぶい橙	5	SK 201
3	碗	黒色				4.8	B, C, E	良	好	浅 黄 橙	50	SK 201
4	広口長頸壺	K						良	好	濃 緑	5	SK 201
1	高台付碗	H S					B	良	好	灰 白	5	SK 204
1	坏 A IV	H	13.6	3.2		5.7	B, D, H	普	通	黄 橙	70	SK 205
2	坏 B	H	10.8	4.0		4.1	B, E, H	普	通	橙	80	SK 205
3	坏 B	H	10.9	4.2		3.8	B, E, H	普	通	赤 橙	70	SK 205, 砂
1	菊花付高台付碗	K	16.1	5.5		7.0	B, D	良	好	灰 白	20	SK 210
2	羽 A II a o	H S	20.2		28		B, D, E, H	普	通	浅 黄 橙	15	SK 210
1	坏 A II	H	11.0	3.3		4.6	B, D, E, H	普	通	淡 橙	60	SK 214
2	坏 A IV	H	12.4	3.5		5.9	B, D, E, H	普	通	灰 橙	100	SK 214
1	高台付碗	M					B	普	通	淡 緑	5	SK 221
1	高台付碗	H S	13.9	5.5			B, D, G, I	良	好	褐 灰	60	SK 222

第568表 土壌(7) 出土遺物観察表(2)

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	輪轆	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A V	H	12.6	3.9		7.5	B, D, E, H	良	好	淡 橙	40	SK 237
2	坏 A VI	H	12.9	3.3		7.5	B, D, E, H	普	通	淡 橙	50	SK 237
3	坏 C	H	12.0	3.3		6.0	B, D, E, H	普	通	淡 橙	100	SK 237
4	坏 C	H	12.4	3.5		7.4	B, E, H	普	通	淡 橙	100	SK 237
5	坏 B V	H	12.9	4.3		5.5	B, C, D, E, H	普	通	淡 橙	30	SK 237
6	皿 B	H	13.1	2.5		4.9	B, D, E, H	普	通	暗 橙	40	SK 237
7	高台付皿	N S	13.1	2.7		6.1	B, E, I	良	好	灰 白	80	SK 237
8	高台付皿	H				13.2	B, D, E, H	良	好	橙	90	SK 237
9	大 皿	S					B	良	好	青 灰	5	SK 237
1	碗	H S	9.9	3.4		4.8	B, G, I	良	好	明 黄 褐	80	SK 238
2	高台付碗	H S	11.0	4.6		5.2	B, E, G	普	通	浅 黄	20	SK 238
3	高台付碗	N S	10.8	4.5		5.7	B, E	良	好	灰	90	SK 238
4	高台付碗	N S	11.3	4.1		5.7	B, E, I	良	好	灰	95	SK 238
5	高台付皿	K	12.5	2.5		6.1	B, D	良	好	灰 白 (灰強い)	30	SK 238
6	高脚高台付鉢	H S				13.1	B, C, E, H	普	通	赤 褐	10	SK 238
1	坏 A II	H	12.3	3.4		7.6	B, D, E, H	普	通	橙	70	SK 241
2	皿	H S	13.2	2.4			B, E, I	良	好	灰 黄	15	SK 241
3	高台付皿	N S	13.4	2.8		6.8	B, I	良	好	灰 黄	50	SK 241
1	高台付皿	H S	13.8	3.2		6.6	B, E, I	良	好	浅 黄	75	SK 254

第569表 土壌(8) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鋳	底径	胎土	焼成	輪轆	色調	残存	出土位置その他
1	大甕	S					B	良好		青灰	5	SK 227
1	碗	S	125	3.8		5.2	B	良好		灰	40	SK 235
2	高台付碗	HS	130	5.6			B, C, E, I	普通		明黄褐	60	SK 235
3	高台付碗	NS	141	6.2		7.4	B	良好		黄灰	70	SK 235
1	坏B	V	H	11.2	4.0	5.4	B, D, E, H	良好		淡橙	100	SK 236
2	坏B	V	H	11.3	4.0	4.7	B, D, E, H	普通		橙	60	SK 236
3	坏B	V	H	11.5	4.1	5.1	B, D, E, H	良好		暗褐	100	SK 236
4	碗	黑色				5.6	B, C, E	良好		(外) 橙灰 (内) 灰	10	SK 236

第570表 土壌(9) 出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鋳	底径	胎土	焼成	輪轆	色調	残存	出土位置その他
1	高台付碗	HS	110	4.8		4.8	B, E, G	良好		にぶい褐	50	SK 261
1	高台付碗	HS	118	5.0		5.3	B, E, G	普通		浅黄	80	SK 266
1	坏A	VI	H	11.9	4.0	4.9	B, D, E, H	普通		橙	40	SK 272
2	坏A	V	H	12.1	3.8	7.9	B, D, E, H	普通		淡橙	100	SK 272
3	坏A	VI	H	12.7	3.5	8.5	B, D, E, H	普通		淡橙	40	SK 272
4	坏A	IV	H	12.8	3.3	4.7	B, C, E, H	普通		暗黄土	100	SK 272
5	坏C	H	13.8	3.3		7.9	B, D, E, H	普通		黄橙	60	SK 272
6	坏A	VI	H	13.0	3.4	6.3	B, D, E	不良		橙	30	SK 272
7	坏A	V	H	12.4	3.4	4.6	B, E, H	普通		淡橙	100	SK 272
8	坏A	VI	H	11.8	3.6	7.8	B, D, E, H	普通		淡橙	40	SK 272
9	坏A	VI	H	12.1	3.6	2.6	B, D, E, H	普通		淡橙	100	SK 272
10	坏A	V	H	12.8	3.2	5.4	B, D, E, H	普通		淡橙	50	SK 272
11	坏A	IV	H	11.4	3.4	4.6	B, D, E, H	普通		黄土	50	SK 272
12	坏A	VI	H	11.8	2.8	4.2	B, D, E, H	普通		淡橙	80	SK 272
13	坏A	IV	H	13.4	3.0	3.0	B, D, E, H	普通		淡黄橙	30	SK 272
14	皿	B	H	12.9	2.4	9.3	B, D, E, H	普通		淡橙	100	SK 272
15	皿	B	H	13.4	2.6	6.6	B, D, E, H	普通		淡橙	70	SK 272
16	皿	B	H	13.6	2.2	9.6	B, D, E, H	普通		淡橙	40	SK 272
17	皿	B	H	13.2	2.3	7.6	B, D, E, H	普通		淡橙	60	SK 272
18	坏B	IV	H	12.9	3.5	7.8	B, D, E, H	普通		淡橙	30	SK 272
19	坏B	III	H	8.8	3.0	4.1	B, D, E, H	普通		赤褐	100	SK 272
20	碗	S	11.9	4.7		5.5	B	良好		暗青灰	90	SK 272
21	碗	S	120	3.5		6.0	B	良好		灰	85	SK 272
22	碗	S	131	3.5		7.0	R, D	良好		灰	50	SK 272
23	碗	NS	129	3.6		6.7	B, E, G, I	良好		灰白	90	SK 272, 黒青
24	碗	HS	124	4.0		5.7	B, I	普通		灰	95	SK 272
25	碗	NS	122	3.9		6.6	B, E, I	良好		灰白	80	SK 272
26	碗	NS	137	4.1		5.9	B, E, I	普通		灰白	100	SK 272
27	高台付碗	HS	121	4.5		5.4	B, E, I	普通		にぶい橙	60	SK 272
28	高台付皿	NS	132	2.7		5.9	B, E, I	良好		灰白	95	SK 272, 黒青
29	高台付大碗	NS	182	7.7		7.6	B, E, I	良好		灰白	90	SK 272
30	高台付大碗	NS	180	8.1		6.9	B, E, I	良好		灰白	80	SK 272
31	高台付碗	K	16.7	5.2		7.6	B, D, K	良好		灰白	底部40 部10	SK 272
32	高台付碗	K				7.6	B, D	良好		灰白	90	SK 272
33	台付甕	H	11.9				B, E	良好		にぶい黄橙	20	SK 272
34	甕	H				5.6	B, C, E, H	良好		黄橙	10	SK 272

第571表 土壌(9) 出土遺物観察表(2)

番号	器種	種類	口径	器高	鈔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏	A V	II	12.2	4.3	5.0	R, C, D, E	普通		淡 橙	70	SK 276, 砂
2	高台付	碗	HS	12.1	4.6	5.7	B, E, G	良好		にぶい黄橙	60	SK 276
3	高台付	碗	NS	14.2	5.2	5.3	B, E	良好		灰 白	60	SK 276
4	羽	A I b イ	HS	20.5		3.6	R, C, E, H	良好		褐 灰	10	SK 276
1	坏	A V	H	12.0	3.7	8.4	B, D, E	普通		淡 橙	100	SK 277
2	坏	A IV	H	12.0	3.6	8.1	B, D, E, H	普通		淡 橙	60	SK 277
3	坏	A VI	H	12.7	3.4	7.8	B, E, H	普通		淡 橙	100	SK 277
4	碗	NS	NS	12.5	4.1	6.1	B, E, I	良好		灰 白	80	SK 277
5	碗	NS	NS	11.9	3.6	6.1	B, E, I	良好		灰 白	90	SK 277
6	碗	NS	NS	13.2	3.8	6.9	B, D	良好		灰	70	SK 277
7	高台付	皿	NS	14.4	2.9	6.0	R, D, I	良好		灰	80	SK 277
1	高台付	皿	HS	13.7	3.7	6.1	B, E, I	良好		灰 白	100	SK 280
1	皿	A	H	14.0	2.4	5.9	B, D, E, H	普通		暗 橙	100	SK 282
2	碗	HS	HS	13.6	3.4	6.9	B, E, I	良好		にぶい黄橙	50	SK 282
1	坏	C	H	13.2	3.1	9.0	B, D, E, H	普通		黄 橙	70	SK 283
2	坏	A IV	II	12.6	3.6	6.3	R, E, H	普通		淡 橙	80	SK 283
3	坏	A IV	II	12.7	3.5	8.1	R, E, H	普通		淡 橙	80	SK 283
4	長頸	壺	K	13.9			B, D	良好		灰 白	20	SK 283

第572表 土壌(10) 出土遺物観察表

番号	器種	種類	口径	器高	鈔	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付	碗	K			7.1	B, D	良好		灰 白	50	SK 294, 被熱
1	坏	C	II	12.8	2.8	9.8	B, D, E, H	普通		橙	60	SK 296
2	坏	A IV	II	12.6	3.3	7.7	B, D, E, H	普通		暗 赤 褐	80	SK 296
3	坏(暗文)		H	12.8	3.9	4.5	D, E, G, H	良好		淡 黄 褐	100	SK 296, 放射状暗文
1	高台付	碗	NS	13.0	4.1	5.8	B, E	良好		灰 白	30	SK 296
2	高台付	碗	K	12.3	4.1	5.3	F	良好		淡 灰	90	SK 297
1	皿	A	H	15.0	2.2	12.6	B, D, E, H	普通		淡 橙 黄	30	SK 297
1	坏	C	II	12.7	3.4	4.1	B, D, E, H	普通		淡 褐	90	SK 300
2	坏	C	II	12.3	3.5	3.8	B, D, E, H	普通		橙	60	SK 304
3	坏	C	H	12.4	3.5	4.8	B, D, E, H	普通		黄 橙	60	SK 304
4	坏	C	H	11.9	3.4	5.1	B, D, E, H	普通		橙	70	SK 304
5	坏	C	H	12.4	3.1	5.0	B, C, D, E	良好		橙	100	SK 304
6	坏	C	H	12.8	2.9	4.6	B, D, E, H	普通		淡 橙	80	SK 304
7	坏	C	II	14.0	3.9	6.1	B, D, E, H	不良		暗 茶	90	SK 304
8	甕	A III a	II	21.3	28.1	5.0	C, E, H	良好		(外) 淡黄橙 (内) 橙	要~底 部取 口縁20	SK 304
9	甕	A II c	H	29.5	25.1	4.7	B, C, E	普通		橙	100	SK 304
10	甕	A III a	H	18.0			B, C, E, H	良好		橙	25	SK 304
11	甕	NS	NS				B, C, G	良好		灰 白	40	SK 304
1	坏	II	II	13.0	2.9	4.3	B, E, H	普通		暗 橙	70	SK 312
2	坏	II	II	13.3	3.5	6.0	B, C, E, H	不良		明 橙	80	SK 312
1	坏	A VI	H	12.0	3.3	5.0	B, D, E, H	普通		淡 橙	90	SK 317
2	坏	A VI	H	11.3	3.5	6.3	B, E, H	普通		淡 橙	30	SK 317
3	長頸	瓶	S	11.3			B	良好		オリーブ黒	5	SK 317
1	坏	A IV	H	11.6	3.4	5.4	B, E, H	普通		淡 橙	40	SK 318

第573表 土壌(11) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈿	底径	胎土	焼成	釉	色調	残存	出土位置その他
1	高台付 椀	K				6.8	B, D	良 好		灰 白	60	SK 325
2	高台付 椀	M					B	良 好		淡 緑	5	SK 325
1	坏 A VI	H	12.3	3.4		7.5	B, D, E, H	普 通		橙	60	SK 326
2	高台付 椀	NS					B, I	良 好		灰 白	5	SK 326, 漆付着
3	蓋	S	13.5				B	良 好		暗オリーブ灰	5	SK 326
4	鉢	H				8.0	B, E	良 好		浅黄橙	40	SK 326
1	坏 A IV	H	13.2	3.2		8.7	B, D, E, H	不 良		こげ茶	70	SK 331
2	椀	NS	13.4	3.5		6.5	B, D	良 好		灰	100	SK 331
1	高台付 椀	NS	12.9	5.6		4.2	B, I	普 通		灰 白	20	SK 336
1	高台付 椀	HS	11.3	4.2		4.9	B, E, I	良 好		橙	30	SK 342
1	高台付 椀	NS	14.3	6.2		5.5	B, E, I	良 好		灰 白	50	SK 345
2	高台付 椀	HS	13.1	5.8		5.2	B, I	良 好		灰 白	20	SK 345

第574表 土壌(12) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈿	底径	胎土	焼成	釉	色調	残存	出土位置その他
1	坏 B II	H	12.0	4.1		3.8	B, D, E, K	普 通		暗茶褐	100	SK 347, 砂
2	高台付 椀	HS	12.1	5.5		6.2	B, E, I	良 好		にぶい褐	80	SK 347
3	高台付 皿	K				7.3	D, K	良 好		灰 白	25	SK 347
4	高台付 皿	M				7.2	B	良 好		淡 緑	20	SK 347
5	高台付 椀	M					B	良 好		淡 緑	10	SK 347
6	把手	NS					B, D	普 通		灰		
7	長頸 壺	NS				7.8	B, D	良 好		(外)オリーブ 灰(内)灰白	底部60 他 30	SK 347
8	長頸 壺	K				13.4	B, D	良 好		灰白(外面や や灰多い)	15	SK 347
1	坏 A C	H	11.9	3.9		5.2	B, E	不 良		淡 橙	70	SK 350
2	坏 A II	H	11.9	3.4		7.4	B, D, E, H	普 通		淡 橙	100	SK 350
3	坏 A IV	H	12.5	3.3		7.8	B, D, E	普 通		橙	90	SK 350
4	坏 A C	H	12.0	3.3		8.0	B, D, E, H	普 通		暗 褐	90	SK 350
5	坏 A IV	H	12.1	3.0		7.7	B, D, E, H	普 通		淡 橙	50	SK 350
6	坏 A IV	H	11.4	3.0		7.1	B, D, E, H	普 通		淡 橙	40	SK 350
7	坏 C	H	13.0	3.7			B, D, E, H	普 通		黄 橙	40	SK 350
8	椀	NS	12.8	4.2		6.0	B, E, I	普 通		灰 白	80	SK 350
1	坏 A IV	H	12.9	3.2		7.6	B, D, E, H	普 通		淡 橙	100	SK 358
2	妻 A III e	H	9.2	11.5		7.4	B, E, H	良 好		にぶい橙	80	SK 358
1	高台付 皿	K				5.8	B, G	良 好		灰 白	60	SK 359
1	椀	NS	13.1	4.3		4.8	B, I	良 好		褐 灰	40	SK 372
1	高台付 椀	HS	12.2	5.0		5.8	B, C, E, I	良 好		にぶい黄橙	100	SK 373
2	台付 甕	H	12.8				B, E, H	良 好		にぶい黄橙	25	SK 373
1	高台付 椀	M				8.7	B	良 好		淡 緑	20	SK 374
1	坏 A VI	H					B, D, E, H	良 好		黄 橙	60	SK 375
1	高台付 皿	M	15.3	2.4		7.2	B	良 好		淡 緑	40	SK 376, 底部へラ書き
1	暗文土器	H	12.5	3.9		6.3	B, D, E, H	普 通		黄 橙	60	SK 377, 放射状暗文
1	坏 A	H	11.9	3.1		8.5	B, E, H	普 通		黄 橙	30	SK 378
2	台付 甕	H	13.7				B, H	良 好		にぶい橙	20	SK 378

第575表 土壌(13) 出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鈿	底径	胎土	焼成	釉	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A VI	H	11.5	3.2		5.3	B, D, E, H	普 通		暗 褐	30	SK 381
1	高台付 皿	HS	13.4	2.4		6.6	B, I	良 好		浅 黄	30	SK 385

第576表 土壙(13) 出土遺物観察表(2)

番号	器種	種別	口径	器高	胴	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A	IV	H	11.9	3.3	7.0	B, D, E, H	普通		淡黄褐	30	SK 387
2	坏 A	V	H	12.2	3.4	7.5	B, D, E, H	普通		淡黄	90	SK 387
1	高台付碗	HS				7.3	B, E, I	良好		にょい黄	30	SK 395
2	皿	HS	S	13.6	2.6	6.3	B, C, I	良好		黄	35	SK 395
1	坏 A	V	H	12.6	3.2	7.3	B, D, E, H	普通		淡黄	30	SK 397
1	坏 B	V	H	11.5	3.6	5.5	B, D, E, H	普通		明	100	SK 412
2	坏 B	V	H	11.0	4.2	3.3	B, D, E, H	普通		暗褐	40	SK 412, 砂
1	高台付碗	NS	S	13.5	4.8	4.2	B, G, I	良好		黒	30	SK 413

第577表 土壙(14) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	胴	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 C	H	H	13.3	3.9	6.1	B, D, E, H	普通		明黄	50	SK 416, 下層
2	坏 C	H	H	12.3	3.3	6.2	B, D, E, H	普通		暗褐	90	SK 416
3	坏 A	IV	H	12.1	3.5	6.5	B, E, H	不良		黄	80	SK 416
4	坏 A	IV	H	13.0	3.5	8.6	B, D, E, H	普通		淡黄	60	SK 416, 下層
5	皿	B	H	13.0	2.9	9.5	B, D, E, H	普通		淡褐	40	SK 416
6	皿	A	H	15.6	3.0	10.1	B, D, E, H	普通		淡黄	40	SK 416
7	碗	NS	S	12.7	3.4	8.0	B, D	良好		灰白	40	SK 416, 最下層
8	坏 C	H	H	11.9	2.9		B, D, E, H	普通		淡黄	40	SK 416
9	高台付碗	黑色	S	15.4	6.5	6.5	B, C, G	良好		(外)にょい黄, (内)黒	75	SK 416
10	高台付皿	K	S			6.5	B, D, K	良好		灰	80	SK 416
11	鉢	鉢	S	23.5			B, J	良好		灰	60	SK 416, 最下層
12	甕 B III b	H		20.9			B, E, K	良好		黄	10	SK 416
1	坏 A	IV	H	13.9	3.2	4.9	B, E, H	普通		暗白	50	SK 419
1	坏 A	VI	H	12.0	3.2	7.5	B, E, H	普通		淡黄	80	SK 420
1	坏 A	IV	H	11.9	3.4	7.7	B, E, I	普通		淡黄	30	SK 421
2	皿	NS	S	14.8	2.1	6.0	B, I	良好		黄	15	SK 421
3	甕 B III b	H		21.8			B, C, E, H	良好		黄	20	SK 421
1	坏 A	I	H	12.6	3.8	6.1	B, D, E, H	普通		淡黄	30	SK 423
1	高台付碗	NS	S	12.2	4.9	6.5	B, E, I	普通		灰	70	SK 433
1	坏 C	H	H	12.0	3.6	7.3	B, C, E, H	普通		淡黄	30	SK 436
1	大甕	S					B	良好		青灰	5	SK 439
1	坏 B	V	H	12.1	3.9	4.2	B, E, H	普通		淡黄	50	SK 446, 砂
2	坏 B	II	H	10.9	3.8	5.3	B, E, H	普通		暗褐	100	SK 446, 砂
1	坏 A	IV	H	12.0	4.0	6.0	B, D, E, H	普通		淡黄	60	SK 448
1	高台付碗	HS	S	12.3	4.4	7.1	B, E, G, I	普通		黄	95	SK 450
1	壺	K				12.6	B	良好		灰白	20	SK 428

第578表 土壙(15) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	胴	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A	IV	H	12.0	4.3	8.6	B, D, E, H	普通		淡黄	40	SK 453
2	坏 A	IV	H	11.8	3.2	7.6	B, D, E, H	普通		黄	40	SK 453
3	鉢	NS	S	27.2			B, C, E	良好		灰白	10	SK 453
1	甕	HS	S	24.2			F, G	良好		青灰	70	SK 464
2	大甕	S	S	30.5			B, G	良好		青灰	20	SK 464
1	皿	S	S	12.7	1.8	6.2	B	良好		灰	20	SK 465
1	皿	S	S	13.0	3.5	6.3	B	良好		灰	40	SK 466
1	彫刻花文輪花付高台付碗	M		12.4	4.8	6.5	B	良好		淡緑	30	SK 473
1	坏 A	H	H	11.9	3.0	8.0	B, E, H	普通		暗黄	20	SK 474
1	坏 B	V	H	11.9	3.9	6.9	B, E, H	普通		明黄	30	SK 479

第 579 表 土壌 (16) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	鉢	S	188				B	良好		青灰	15	SK 494
1	坏	C	H	118	3.5		B, D, E, H	普通		暗黄	40	SK 495
1	坏	A V	H	122	3.6		C, D, E, H	普通		淡黄褐	80	SK 501
2	坏	A V	H	118	3.8		B, D, E, H	普通		黄	70	SK 501
1	耳	皿	K				B, D	良好		灰白	40	SK 502, 被熱
2	羽	口					B, E, H	良好		淡黄	80	SK 502
3	羽	口					B, E, H	良好		赤黄	80	SK 502
1	坏	A VI	H	120	3.8			普通		淡黄	40	SK 515

第 580 表 土壌 (17) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏	A IV	H	108	3.2		B, D, E, H	普通		淡黄	30	SK 527
1	坏	A II	H	122	3.5		B, D, E	普通		淡黄	60	SK 528
2	坏	A IV	H	124	3.5		B, D, E, H	普通		暗黄	90	SK 528
3	高台付 碗	H S		142	6.0		B, C, E, I	良好		外-灰 内-灰黄	60	SK 528
4	高台付 皿	K					B, D	良好			100	SK 528, 温書
1	坏	A II	H	118	3.4		B, D, E, H	普通		黄	30	SK 537
1	小	皿	H	89	2.0		B, E, H	普通		にぶい黄	90	SK 545

第 581 表 土壌 (18) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	段	皿	M	173			B, D	良好		(外) 灰白, (内) オリーブ 灰	10	SK 552
1	坏	C	H	113	3.2		B, E, H	普通		淡黄	60	SK 553
2	坏	C	H	118	3.2		B, E, K	普通		黄	50	SK 553
3	坏	A VI	H	106	3.2		B, D, E, G	普通		淡黄	30	SK 553
4	坏	A IV	H	118	3.6		B, E, H	普通		淡黄	30	SK 553
5	坏	C	H	121	3.5		B, E, H	普通		暗黄	90	SK 553
6	高台付 碗	K					B, D, K	良好		灰白	25	SK 553
7	鉢	H		208			D, E, H	良好		黄	20	SK 553
8	羹	B II a	H	191			B, C, E, H	普通		黄	20	SK 553
9	台付 羹	H	170				B, E, G	良好		にぶい黄	80	SK 553
10	広口 壺	S		224			B, G	良好		青灰	20	SK 553
1	皿	A	H	149	2.9		B, D, E, H	普通		淡黄	30	SK 571
1	坏	A IV	H	137	4.1		B, D, E, H	普通		黄	30	SK 573
1	坏	C	H	118	2.9		B, D, E, H	普通		淡黄	20	SK 581

第 582 表 土壌 (19) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付 碗	N S		123	4.5		B, C	良好		黄灰	30	SK 611
1	羹	H S					B, I	良好		浅黄	5	SK 618
2	長頸 壺	K					B, D	良好		灰	25	SK 618, 被熱
1	高台付 碗	H S		141	5.8		B, E	普通		灰白	80	SK 619
2	壺	S					B	良好		灰オリーブ	10	SK 619
3	彫刻花 文 高台付 碗	M					B	良好		淡緑	5	SK 619
4	羹	B II a	H	202			B, D, E, H	良好		浅黄	20	SK 619
1	坏	C	H	110	13.6		B, E, H	普通		暗黄	30	SK 620

第583表 土壌(20) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	蓋	H S					B	普通		淡黄	5	SK 622
1	蓋	S				13.6	B	良好		灰	5	SK 631
1	甕 B III b	H S	20.0				B, E, H, K	良好		にぶい橙	40	SK 632
1	高台付皿	H S	13.1	3.2		5.4	B, E, I	良好		にぶい黄褐	95	SK 643
1	高台付皿	K				8.3	B, D	良好		灰白 (灰強い)	50	SK 644, 墨書?
1	高台付碗	M					B	良好		淡緑	5	SK 645
1	高台付碗	H S	17.0				B	良好		灰	20	SK 646
2	台付甕	H	10.7				B, E, H, K	良好		橙	25	SK 646
1	坏 A IV	H	11.8	3.8		5.7	B, C, E, H	普通		明橙	100	SK 648
2	坏 A IV	H	12.1	3.8		7.1	B, C, E, H	普通		淡橙	30	SK 648
3	坏 A V	H	12.9	3.7		8.2	B, D, E, H	普通		暗橙	30	SK 648
4	坏 A VI	H	11.9	3.6		2.8	B, D, E, H	普通		暗橙	40	SK 648
5	坏 A VI	H	13.4	3.0		5.0	B, E, H	普通		淡橙	40	SK 648
6	碗	H S	13.6	3.3		7.2	B, E, I	普通		灰	25	SK 648
7	高台付碗	N S	15.2	5.1		6.7	I	良好		灰黄	90	SK 648
8	高台付碗	N S	14.2	5.3		5.8	B, E, G	良好		灰白	75	SK 648, 墨書
9	甕 B I c	H	22.0				B, E	良好		浅黄橙	25	SK 648
10	甕 B III a	H	20.1				B, E, H	良好		橙	25	SK 648

第584表 土壌(21) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏 A VI	H	12.3	3.3		6.4	B, D, E, H	普通		淡橙	60	SK 668
1	坏 C	H	12.0	3.0		8.4	B, D, E, H	普通		淡橙	30	SK 670
1	高台付碗	K				6.7	B, D	良好		灰白 (やや黄味)	40	SK 671, 被熱
1	高台付碗	H S				5.5	B, I	良好		灰黄褐	20	SK 672
1	碗	H S				7.3	B, D	良好		灰白	25	SK 679
1	碗	黒色	12.8	3.2		6.2	B, I	普通		外-橙 内-黒褐	20	SK 686

第585表 土壌(22) 出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	皿	H S	13.7	3.0		6.1	B, I	普通		にぶい橙	40	SK 688
2	高台付碗	K				8.4	B	良好		灰白	20	SK 688
1	碗	N S	12.3	3.3		5.5	B, E, I	普通		灰白	25	SK 711
2	碗	H S	13.2	4.0		5.7	B, E, I	普通		にぶい黄橙	70	SK 711

第586表 土壌群出土遺物観察表(1)

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	高台付皿	H S	13.2	2.7		5.8	B, E, I	良好		褐灰	10	第1-A
2	高台付碗	N S	14.3	6.3		7.0	B	普通		灰	50	第1-B
3	甕 B III c	H	20.7				B, E, H	良好		浅黄橙	20	第1-B
4	坏 A IV	H	12.7	2.9		8.5	B, E, H	普通		黄橙	40	第1-C
5	碗	N S	12.2	3.3		6.0	B, C, I	良好		黄灰	60	第1-C
6	高台付碗	N S	13.6	15.2		6.8	B, E	良好		黄灰	60	第1-C
7	高台付碗	N S	13.8	6.2		6.4	B, D, E	良好		黄灰	80	第1-C
8	高台付碗	K	14.9	4.4		6.5	B, D, K	良好		灰白	100 部	第1-C, 墨書
9	高台付碗	K	16.0	14.8		7.4	B, D	良好		灰白	70	第1-C, 被熱
10	高台付碗	K	18.8	6.2		9.0	B, D	良好		灰白 (やや黄味)	25	第1-C
11	長頸甕	K				10.6	B, D	良好		灰白 (灰強い)	20	第1-C

第587表 土壌群出土遺物観察表(2)

番号	器種	種別	口径	器高	胴	底径	胎土	焼成	釉	色調	残存	出土位置その他
12	坏A	V	H	122	3.4		8.0	B, E, H	普通	橙	100	第1-D
13	碗	S		11.6	3.7		5.5	B	良好	青灰	40	第1-D
14	高台付碗	K		15.6	4.8		7.2	B, D	良好	灰白 (やや灰味)	20	第1-D
15	高台付碗	K		17.2				B, D	良好	灰白	25	第1-D, 被熱
16	高台付碗	H S		16.8	8.8		6.1	B, C, G	やや不良	浅黄橙	15	第1-D
17	鉢	H S		30.2				B, H	普通	褐灰	20	第1-D
18	甕	S		28.5				B, G	良好	青灰	20	第1-D
19	大甕	S						B	良好	青灰	5	第1-D
20	坏A	V	H	130	3.9		8.0	B, D, E, H	普通	暗褐	100	第1-F
21	坏A	V	H	138	4.5		5.2	B, E, H	普通	淡橙	40	第1-F
22	皿	B	H	13.1	2.5		5.2	B, D, E, H	普通	淡黄橙	30	第1-F
23	碗	N S		12.9	3.8		6.0	B	良好	灰	80	第1-F, 墨書
24	碗	N S		13.2	3.5		6.0	B, E	良好	灰白	20	第1-F
25	把手	K						B, D	良好	灰白	5	第1-H
26	坏A	V	H	12.3	3.6		6.1	B, D, E, H	普通	淡橙	30	第1-I
27	高台付碗	H S		12.9	5.1		6.4	B, E	良好	にぶい黄橙	90	第1-I
28	甕	S		21.8				B, G, K	良好	青灰	15	第1-I
29	坏A	V	H	11.1	3.5		8.0	B, D, E, H	普通	淡橙	100	第1-J
30	坏A	V	H	11.0	3.2		6.5	B, D, E, H	普通	淡橙	30	第1-J
31	坏A	V	H	11.0	3.2		7.5	B, D, E, H	普通	淡橙	30	第1-J
32	坏A	V	H	12.0	3.5		7.9	B, D, E, H	普通	淡橙	50	第1-J
33	坏A	V	H	12.2	3.5		7.2	B, D, E, H	普通	淡橙	50	第1-J
34	高台付碗	N S		13.9	5.3		6.0	B, I	良好	灰白	75	第1-J
35	高台付皿	H S		14.4	2.7		8.0	B, C, I	良好	灰白	10	第1-J
36	甕B II a	H		13.8				B, E, H	良好	にぶい橙	25	第1-J
37	長頸壺	S						B, K	良好	青灰	90	第1-J
38	双耳壺把手	N S						B, C, G, H	普通	灰白	10	第1-J
40	坏A	V	H	11.9	3.7		6.8	B, D, E, H	普通	淡黄褐	100	第1-M
42	長頸壺	K					8.2	D	良好	灰	20	第1-N
43	碗	S		12.8	3.9		6.7	B	良好	灰	80	第1-O
44	高台付碗	K					6.9	B, D	良好	灰(黄味)	100	第1-O, 被熱
45	高台付皿	K		14.2	2.9		7.0	D	良好	灰白	25	第1-Q, 被熱
46	高台付皿	K					6.9	B, D	良好	灰白	100	第1-Q, 墨書
47	耳	K		7.3	0.7		5.0	D	良好	灰白	10	第1-Q
48	大甕	S						B	良好	青灰	10	第1-Q
2	坏A	V	H	12.0	3.4		8.1		普通	淡橙	70	第2-B
3	坏A	V	H	11.7	3.3		7.8		普通	淡橙	30	第2-B
4	壺	H S		13.4					普通	にぶい橙	5	第2-B
5	大甕	S							良好	灰	5	第2-B
7	坏A	V	H	13.3	3.6		5.2	B, D, E	普通	淡橙	40	第2-F
8	坏A	V	H	12.9	3.5		6.1	B, D, E, H	普通	暗茶褐	30	第2-G
9	碗	H S		13.1	3.8		6.2	B, C, I	普通	(口縁部灰)	30	第2-G
1	高台付碗	H S		15.8	5.4		6.7	B, E, I	普通	橙	50	第3-B
2	高台付皿	K					7.8	B, D	良好	灰白	10	第3-C, 被熱
3	坏A	V	H	10.8	3.2		7.3	B, D, E, H	普通	淡橙	30	第3-D
4	坏A	V	H	12.9	3.3		8.9	B, D, E, H	普通	淡黄橙	30	第3-F
5	高台付碗	K					7.9	B, D	良好	灰白	40	第3-F

第 588 表 土壌群出土遺物観察表 (3)

番号	器 種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎 土	焼 成	輪轆	色 調	残存	出土位置その他
6	高台付皿	HS	125	24		5.7	B, I	良 好		にぶい黄橙	25	第3-F
7	甕 B II b	H	196				B, C, E, H	良 好		浅黄橙	25	第3-F
8	坏 (暗文)	H	141	3.7		9.2	B, E, G, H	普通		淡橙	60	第3-I, 放射状暗文
9	皿 A	H	146	2.5		10.6	B, D, E, H	普通		淡橙	60	第3-I
10	坏 A IV	H	117	2.7		7.1	B, D, E, H	普通		淡橙	30	第3-J
11	鉢	S	200					良 好	L	灰	5	第3-L
12	壺	S				16.7		良 好		青 灰	残部100 他 25	第3-L
13	皿 B	H	144	2.7		9.4	B, D, E, H	普通		茶 褐	50	第3-P
14	高台付碗	K				9.7	B, D	良 好		灰 白 (やや黄味)	25	第3-Q
15	坏 A VI	NS	138	5.2		5.8	D, E, H	良 好		灰 白	90	第3-S
16	高台付碗	NS	117	2.9		6.9	B, E, I	普通		淡橙	30	第3-S
1	皿 B	H	145	7.4		2.2	B, D, E	普通		淡橙	20	第4-A
2	碗	S	113	5.6		3.6	B, C	普通		褐 灰	70	第4-A
3	碗	NS	123	6.4		3.6	B	普通		褐 灰	50	第4-A
4	高台付碗	NS	145	7.6		6.0	B	良 好		灰 灰	40	第4-A
5	坏 A VI	H	120	3.3		6.0	B, D, E, H	普通		淡橙	100	第4-G
6	高台付皿	K	147	3.0		6.4		普通				第4-G
7	高台付碗	HS	166	7.3		7.0	B, C, I	良 好		にぶい黄橙	25	第4-G
8	坏 C	H	120	3.3		6.6	B, D, E, H	普通		明 橙	50	第4-L
9	坏 A IV	H	128	3.5		8.8	B, D, E, H	普通		淡橙	100	第4-L
10	坏 A V	H	124	3.4		8.2	B, E, H	普通		淡橙	100	第4-L
11	坏 A V	H	128	3.4		7.8	B, D, E, H	普通		淡橙	70	第4-L
12	坏 A V	H	122	3.6		5.1	B, D, E, H	普通		暗 褐	90	第4-L
13	坏 A IV	H	130	3.5		7.0	B, E, H	普通		淡橙	90	第4-L
14	坏 B I	H	118	4.6		6.0	B, E	普通		淡橙	30	第4-L
15	碗	NS	124	3.8		6.4	B, G, I	良 好		灰 白	95	第4-L
16	皿	NS	142	2.5		7.8	B, C, E, I	良 好		橙	40	第4-L
17	高台付碗	NS	131	4.9		6.7	B, E, I	良 好		灰 灰	100	第4-L
18	高台付碗	S	150	5.3		6.4	B	良 好		黄 灰	50	第4-L
19	高台付碗	HS	138	5.4		6.8	B, I	良 好		灰 白	75	第4-L
20	高台付碗	NS	139	4.4		6.0	B, I	良 好		褐 灰	25	第4-L
21	高台付碗	K	134	14.1		6.9	B, D	良 好		灰 白	50	第4-L
22	高台付皿	K	137	3.1		6.2	B, D, H	良 好		灰 白	60	第4-L
23	甕 A III b	NS	206				B, C, E, H	普通		橙	25	第4-L
24	台付甕	H	119				B, C, E, H	良 好		橙	25	第4-L
25	壺	H				9.6	B, C, E, H	良 好		橙	残部100	第4-L
26	台付甕脚	S				8.6	B, E, H	良 好		橙	40	第4-L
27	壺	H					B, D	不 良		淡 灰	20	第4-L
28	甕	S	50.0				B, D, G	良 好		青 灰	15	第4-L
29	坏 A III	H	12.0	3.9		6.7	B, D, E, H	普通		橙 白	70	第4
30	碗	S	128	3.7		7.2	B, I	良 好		灰 白	25	第4
31	碗	HS	130	3.8		6.4	B, G, I	良 好		にぶい黄橙	50	第4
32	碗	NS	126	3.5		5.7	B	良 好		灰 白	50	第4
33	皿	S	125	2.2		6.7	B, C	普通		灰 白	50	第4
34	高台付碗	NS	172	7.4		7.0	B, E, I	良 好		灰 白	25	第4
35	高台付碗	HS	142	6.7		7.3	B, I	普通		灰 白	30	第4
36	高台付碗	NS				7.0	B, E, I	良 好		灰 白	50	第4
37	高台付皿	NS	120	2.8		6.0	B, I	良 好		灰 白	40	第4
38	高台付皿	K	14.1	2.8		6.5	B, D	良 好		灰 白	60	第4
39	甕 B III b	H	17.1				B, E, H	良 好		浅黄橙	20	第4
40	台付甕	H	122				B, E, H	普通				第4
41	鉢	NS	245				B, C	良 好		灰 白	10	第4

(7) 井戸跡

中堀遺跡では、3井の井戸跡を検出した。井戸跡は、北西部・中央部・南東部のそれぞれ掘立柱建物跡群の各群に1井ずつ確認できたが、中央部の第2号井戸跡のみは、掘り方の途中で掘削を停止したようである。そのため井戸跡は、北西部と南東部の竪穴式住居跡を含む建物群に伴うと考えたい。

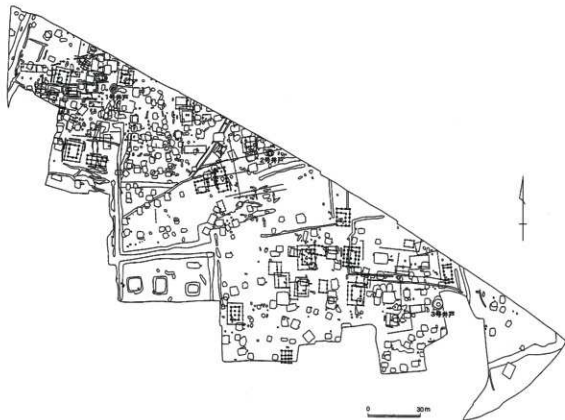
3井とも大形の掘り方をもった井戸跡であった。小形の井戸は検出できなかった。第1号、第3号井戸跡は、炭化した井戸杵を確認できた。また第1号井戸跡

では、開口部の周囲に溝と小規模な柱穴が検出できた。井戸跡を囲む遮蔽物や上屋が、設置されていた可能性が高い。

井戸跡から出土した遺物は決して多くはないが、中堀Ⅶ期からⅧ期にかけての遺物であった。出土した土器は供膳具に限られ、煮沸具は出土しなかった。

なお旧地表面から50cmのところ浅間山B軽石が、レンズ状に堆積していた。

第735図 井戸跡全体図



第1号井戸（第736図）

F・G-7グリッドに確認した。

周辺は、掘立柱建物跡・土塊・小穴などの遺構が密集していた。覆土上面に火山灰や鉄分を多量に含む黒色土が堆積し、容易に確認できなかった。しかし、多量の川原石や砂利が覆土に含まれ、調査は困難を極めた。

井戸の掘り方の形状は、方形で、確認面の規模は、長軸4.03m・短軸3.7mであった。

掘削方法は、確認面下2mまで、地山をロート状に掘り下げ平坦面を造った後一回り小さくさらに掘り下げていた。平坦面まで井戸枠を設置し、黄褐色土の粘質土を主体とした第11～14層で掘り方との隙間を埋めていた。

炭化物の層（第15層）が、平坦面付近に検出でき、井戸枠と判断した。不整形な八角形が確認でき、井戸枠は八角形と推定した。井戸枠の規模は、一辺0.38m～0.56mで対角線の長さ2.2m前後であった。

井戸の深さは、3.5mまで確認できた。周辺の遺構の調査終了後、重機を使用して底面の検出作業を試みたが、崩落が激しく測量は行えなかった。

掘り方を掘んで、円形の狭く浅い溝を検出した。長軸5.9m・短軸5.09mを測り、溝の幅は0.3m・深さ0.18mであった。溝の中から径0.2～0.35m・深さ0.25m前後の小穴を検出した。小穴は、3基1組として掘り方の四隅付近に配置されていた。上屋もしくは壁などの構造物の存在を推定させた。

遺構の切り合い関係は、第4号掘立柱建物跡より新しかった。

1から7は、土師器の坏Bである。8は、土師器の高台付坏である。3・5・7は底部、8は口縁部が欠損している。

9・11から14は、碗である。11・13は、須恵器（NS）である。ほかは、須恵器（HS）である。10・15から30は、高台付碗である。18から20は、須恵器（NS）である。28は、須恵器（S）である。ほかは、須恵器（HS）である。10・15は高台、26・29は底部が欠損している。27は底部のみである。

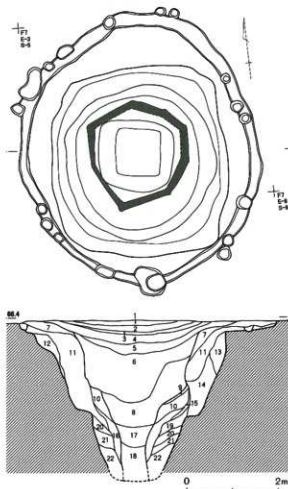
31は、須恵器（NS）の高脚高台付碗である。

32・33は、灰釉陶器の高台付皿である。34は、緑釉陶器の高台付皿である。35は、緑釉陶器の高台付皿である。32は底部が欠損している。33・34は底部のみで

第589表 第1号井戸跡出土遺物観察表（1）

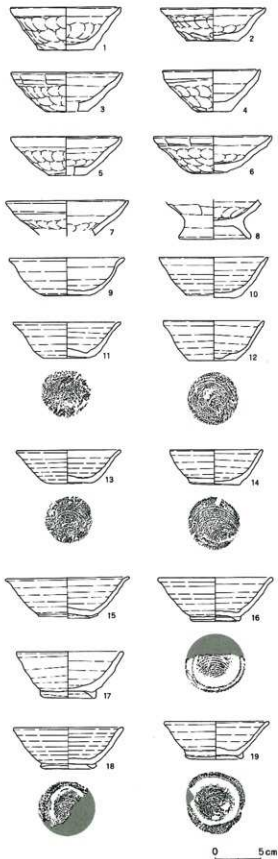
番号	器種	種別	口径	器高	厚	底径	胎土	焼成	輪軸	色調	残存	出土位置その他
1	坏	B	H	11.9	4.7	6.2	B, D, E, H	普通		淡橙	20	
2	坏	B	H	11.3	3.6	5.7	B, D, H	普通		橙	60	
3	坏	B	H	12.0	4.3	4.6	B, D, E, H	普通		暗茶褐	30	砂
4	坏	B	H	10.5	4.5	3.7	B, D, E, H	普通		暗茶褐	40	
5	坏	B	H	11.9	4.2	4.1	B, E, H	普通		黄橙	50	砂
6	坏	B	H	12.8	4.0	3.7	B, E, H	普通		黄橙	90	
7	坏	B	H	13.2			B, E, H	普通		暗茶	30	
8	高台付坏	H				7.5	B, E, H	普通		暗黄橙	30	
9	碗	HS	HS	12.5	4.1	5.1	B, E, G, I	良好		灰黄	30	
10	碗	HS	HS	11.9	5.0		B, E, G	良好		黄灰	60	底土出土
11	碗	NS	NS	11.5	3.9	5.1	B, E, G	良好		灰	60	
12	碗	HS	HS	10.9	4.3	5.3	B, E, G	良好		にぶい黄橙	100	
13	碗	NS	NS	11.2	3.6	4.7	B, E, G	良好		灰オリーブ	95	
14	碗	HS	HS	10.0	3.7	5.2	B, E, G	普通		にぶい橙	110	底面付近
15	高台付碗	HS	HS	13.3	4.7		B, E, I	良好		黄灰	30	
16	高台付碗	HS	HS	12.3	4.8	5.1	B, E, G	良好		黄橙	40	
17	高台付碗	HS	HS	11.4	5.0	5.3	B, E, G	普通		浅黄橙	80	
18	高台付碗	NS	NS	11.7	4.5	5.1	B, E, G	良好		褐灰	40	
19	高台付碗	NS	NS	11.2	4.1	5.3	B, E	良好		灰白	95	底土出土

第736図 第1号井戸跡・出土遺物(1)

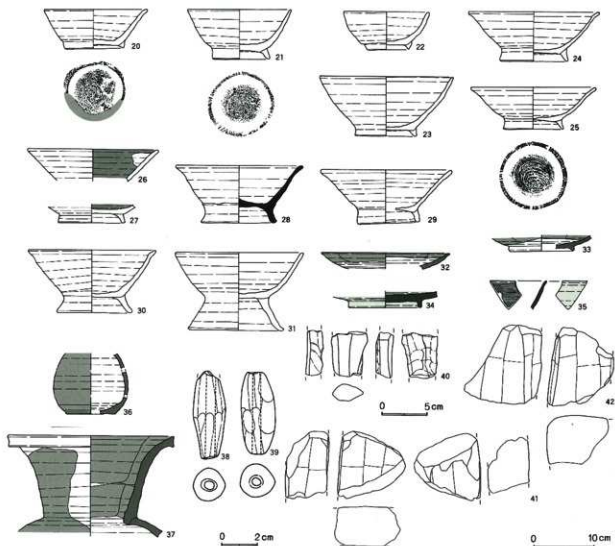


第1号井戸

- 1 淡乳白色土 粒子の細かい層
- 2 翠乳白色土 粘質あり
- 3 黒色土 淡茶色の鉄分を多量に含む(1、2層の鉄分比参照)
- 4 濃黒色土 炭土、炭化物を多量に含む、小砂粒を少量含む
- 5 こげ茶色土 炭土、炭化物、小砂粒を多量に含む
- 6 茶褐色土 炭土、大形礫を多量に含む
- 7 茶褐色土 炭土粒子、炭化物を多量に含む
- 8 黒色土 砂利主体 炭土粒子を微量含む、大形礫を多量に含む(井戸壁のため)
- 9 黒色土 炭土粒子を多量に含む 粘質あり
- 10 暗褐色土 炭土粒子を多量に含む、炭化物、小砂粒を少量含む
- 11 暗褐色土 炭化物を微量含む 砂利散在り方層のため
- 12 暗褐色土 粘土層(隅り方層のため)
- 13 黄褐色土 粘土層 砂利を少量含む(隅り方層のため)
- 14 黒色土 炭化層(井戸跡)
- 15 暗褐色土 炭土粒子、炭化粒子を少量含む 粘質あり
- 16 暗褐色土 炭土、炭化物を多量に含む、土器片を含む
- 17 暗褐色土 炭土粒子、炭化粒子を少量含む 小礫を少量含む
- 18 暗褐色土 炭土粒子、炭化粒子を少量含む、小礫を含む 下段に炭化物を帯状に含む
- 19 暗褐色土 炭土粒子、炭化粒子を多量に含む 下段に炭化物を帯状に含む 粘質あり
- 20 暗褐色土 炭土粒子、炭化物を少量含む
- 21 黄褐色土 小礫を多量に含む 黄灰色粘土層



第737図 第1号井戸跡出土遺物(2)



ある。35は口縁部破片である。

36は、灰釉陶器の小瓶である。37は、灰釉陶器の長頸壺である。36は胴部上位以上、37は胴部上位以下が欠損している。

38・39は、土鍾である。

40は、砥石である。

41・42は、凝灰岩の切石である。

第2号井戸 (第738図)

J-16グリッドに確認した。

大形の川原石を多量に含む砂利層が確認面のため確認作業は困難であった。

第163号住居跡が埋まった後、その窪みを利用して井戸の構築を試みたが、なんらかの理由で途中で放棄したと推定した。

掘り方は円形で、規模は長軸4.73m・短軸4.58m・深さ1.5mであった。

覆土は、砂質の黒色土と地山の黄褐色土を含む土が、交互に堆積していた。

遺物は、底面から緑釉陶器の輪花碗(9)、鉄製品(14)が出土した。

1から3は、土師器の坏Bである。

4・5は、須恵器(NS)の高台付碗である。6は、須恵器(NS)の高台付皿である。4は高台、6は底

第590表 第1号井戸跡出土遺物観察表(2)

番号	器種	種別	口径	器高	胴	底径	胎土	焼成	釉	色調	残存	出土位置その他	
20	高台付碗	NS	11.0	4.3		6.3	B, E, G	良好		灰黄	90	底土出土 底面付近	
21	高台付碗	HS	11.3	5.4		5.9	B, E, G	良好		にぶい黄	90		
22	高台付碗	HS	9.2	4.1		4.3	B, E, G, I	良好		にぶい黄	80		
23	高台付碗	HS	14.5	6.4		6.1	B, E, I	良好		浅黄	30		
24	高台付碗	HS	14.0	5.3		7.1	B, E	良好		褐灰	70		
25	高台付碗	HS	13.4	4.5		6.1	B, E, I	良好		にぶい	50		
26	高台付碗	HS	14.1				B, E, I	良好		灰褐	5		
27	高台付碗	HS				6.6	B, E, I	良好		(外)褐灰 (内)黒褐	10		黒色処理
28	高台付碗	S	13.5	6.2		7.2	B, E	良好		褐灰	60		
29	高台付碗	HS	14.2	5.8		5.0	B, E, I	良好		にぶい黄	100		
30	高台付碗	HS	13.9	6.8		7.7	B, E, G	良好		褐灰	70	底土出土	
31	高脚高台付碗	NS	13.8	8.4		9.8	B, E	普通		橙	95	底土出土	
32	高台付皿	K	13.7				B, D	良好		灰白	10		
33	高台付皿	K				6.6	B, D	良好		灰白	10		
34	高台付皿	M				7.2	B	良好		淡緑	10		
35	高台付碗	M					B, I	良好		淡緑	5		
36	小瓶	K				5.3	B	良好		灰白	10		
37	長頸壺	K	17.7				B, D	良好		灰白	80	被熱	

第591表 第1号井戸跡出土土錫観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
38	にぶい黄	70		1.8	0.5	126	B1	II a	86	
39	橙	100	4.5	1.9	0.5	139	B1	I a	87	

部が欠損している。

7は、灰粘陶器の高台付碗である。8は、灰粘陶器の高台付皿である。9は、緑粘陶器の輪花付高台付皿である。10は、灰粘陶器の耳皿である。11は、緑粘陶器の高台付皿である。12は、緑粘陶器の高台付碗であ

る。7・11は口縁部、8は底部が欠損している。10は耳のみである。12は体部破片である。

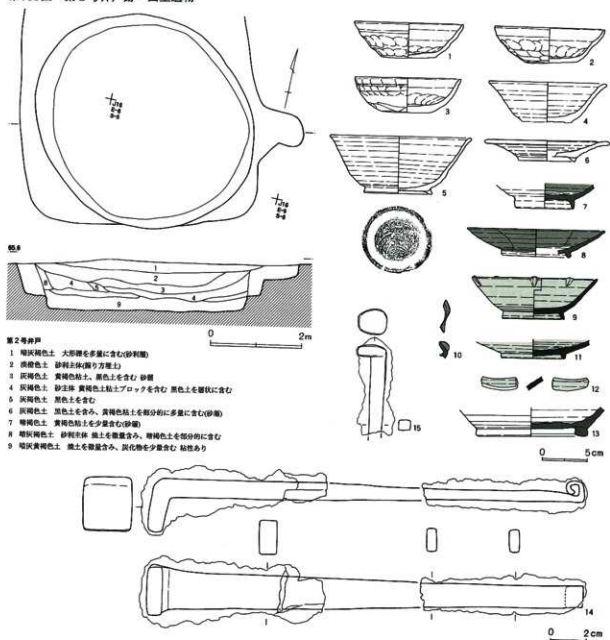
13は、灰粘陶器の長頸壺である。底部のみである。

14は、鉄製の掛金。15は、鉄釘である。

第592表 第2号井戸跡出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	胴	底径	胎土	焼成	釉	色調	残存	出土位置その他
1	坏	B	11.6	3.8		6.0	H, D, E, H	普通		淡赤	40	被熱
2	坏	B	11.2	3.9		5.7	B, E, H	普通		暗赤	100	
3	坏	B	11.3	3.7		5.5	B, E, H	普通		淡橙	90	
4	高台付碗	NS	12.3	4.8		4.0	B, E, G	良好		灰白	30	
5	高台付碗	NS	14.9	6.1		7.1	B, E, I	良好		黄灰	70	
6	高台付皿	NS	13.2	2.2		5.7	B, E, G	良好		灰黄	25	
7	高台付碗	K				6.1	B, D	良好		灰白	50	
8	高台付皿	K	14.7	3.0		7.0	B	良好		灰白	80	
9	輪花付高台付皿	M	13.3	4.5		6.8		良好(縦貫側 蓋部と同様)		濃緑	50	
10	耳皿	K					B	良好		灰白	3	
11	高台付皿	M				7.2	B	良好		淡緑	10	
12	高台付碗	M					B, D	良好		淡緑	5	
13	長頸壺	K				11.2	B, D	良好		灰白	25	被熱

第738図 第2号井戸跡・出土遺物



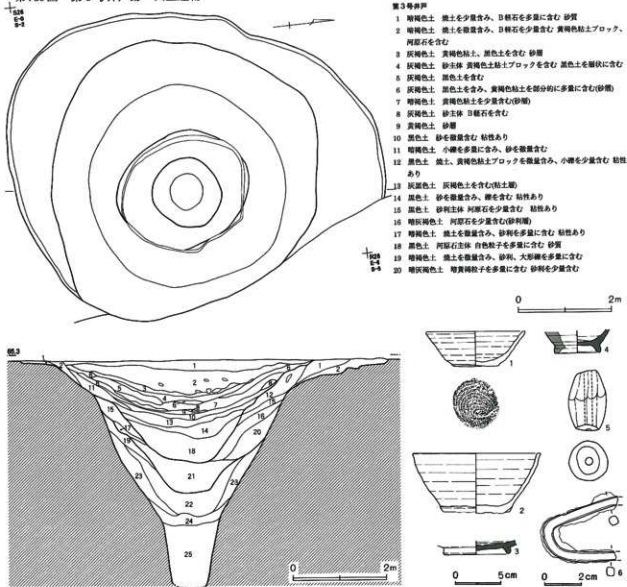
第593表 第3号井戸跡出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	碗	H S	10.4	3.7		4.5	B, E, G	良好		灰黄	70	
2	高台付碗	H S	13.0				B, E, I	良好		浅黄	30	
3	高台付皿	K				6.5	B	良好		灰白	100	
4	長型壺	K				4.9	B, D	良好		灰白	20	被熱

第594表 第3号井戸跡出土土鐘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
5	明赤褐	100	3.2	2.0	0.4	13.5	B 1	I a	88	

第739図 第3号井戸跡・出土遺物



第3号井戸 (第739図)

R・S-26グリッドに確認した。

砂利層が遺構確認のため、覆土下層に大形の川原石が多量に含まれていた。さらに湧水が激しく、調査は困難を極めた。

覆土上層は、火山灰を含む黒色の砂質土と、地山のブロックを含む灰褐色の砂質土が交互に薄く堆積していた。

掘り方は、砂利採取の攪乱によって一部破壊されていた。形状は、楕円形であり、確認面の規模は長軸7.9m・短軸6.3mであった。

構築方法は、確認面から深さ3.1mまでロート状に掘り下げ、井戸枠を設置したのち、砂利を主体とする暗灰褐色土などで、掘り方との隙間を埋めていた。

確認面下2.4m付近で楕円形の炭化物層が確認でき、円形の井戸枠と推定した。井戸枠の規模は、長軸2.4m・短軸2.15mであった。

井戸の深さは、4.84mまで確認できたが、湧水と、壁面の崩落の恐れから、底面の検出は行えなかった。

1は、須恵器(HS)の椀である。2は、須恵器(HS)の高台付椀である。3は、灰粘陶器の高台付皿である。2は高台が欠損している。3は底部のみである。

4は、灰相陶器の長頸壺である。底部のみである。

5は、土鍾である。

6は、棒状鉄製品である。

(8) 竪穴状遺構

14基の竪穴状遺構が、調査区の北西部から南西部にかけて検出できた。ここで竪穴状遺構として報告したものは、方形の掘り込みの一方にカマドを備えた一般の竪穴式住居跡と異なる遺構を扱うこととする。発掘調査中に工房跡（SX）として調査した遺構である。

規模・形状とも不揃いで、柱や貯蔵穴などの特別な施設を伴う遺構も少ない。

しかし大甕や土鍾などが出土し、第7号竪穴状遺構

からは、土師器の三足付き香戸やトリベが出土するなど、周辺の建物と密接な関連が予測される。とくに第5号～第14号竪穴状遺構は、第13号区画溝内の建物地業跡群の中にあつたことから瓦の出土もみられた。

また須恵器大甕の出土した第4号竪穴状遺構は、出土状態から須恵器大甕を据え付けた遺構とは考えにくく、破損した須恵器大甕を廃棄した遺構と判断した。

第740図 竪穴状遺構全体図



第595表 竪穴状遺構一覧表

番号	グリッド	長軸	短軸	深さ	長軸方向	形状	時期	備考
1	B-3・C-2・3	2.70	1.88	0.12	N-23°-E	南壁中央が張り出す不正長方形	10世紀後半	
2	F-5・G-5	4.09	1.97	0.12	N-84°-W	長方形	10世紀前半	
3	S-17・T-17	5.57	2.30	0.24	N-0°-E	北壁が短い台形	9世紀後半	
4	O-18	5.76	2.42	0.23	N-12°-E	長方形	9世紀後半	
5	R-8	1.97	1.27	0.06	N-81°-E	長方形	不明	
6	Q-9・R-9	4.30	2.18	0.18	N-2°-E	長方形	9世紀後半	
7	Q-9	4.91		0.55	N-86°-W	方形	9世紀後半	
8	R-11	2.81	1.88	0.15	N-61°-E	長方形	不明	
9	Q-10・11・R-10・11	3.72	3.03	0.41	N-88°-E	方形	不明	
10	R-10	3.30	2.57	0.18	N-73°-E	方形	9世紀前半	
11	Q-10	2.24		0.15	N-90°-E	L字状	不明	
12	R-11	3.30	2.97	0.27	N-35°-W	方形	不明	
13	R-11	2.33		0.12	N-87°-W	長方形	10世紀前半	
14	P-11・Q-11	2.12		0.42	N-82°-W	長方形	不明	

第1号竪穴状遺構 (第741図)

B-3、C-2・3グリッドに確認した。

周辺は、住居跡・溝などがみられたが、比較的疎らであった。

形状は、南壁中央の張り出す不正長方形で、規模は長軸2.7m・短軸1.88m・深さ0.12mであった。

長軸方向は、N-23°-Eであった。

遺構の切り合い関係はみられなかった。

1は、須恵器 (NS) の椀である。2・4から6は、高台付椀である。3は、須恵器 (NS) の高台付椀である。1・3・5は口縁部、4は底部が欠損している。5は底部のみである。

7は、灰釉陶器の輪花付高台付椀である。底部が欠損している。

8は、須恵器 (HS) の羽釜である。胴部中位以下が欠損している。

第2号竪穴状遺構 (第741図)

F・G-5グリッドに確認した。

周辺は、掘立柱建物跡・土壌・小穴などが密集し、確認に手間取った。

形状は長方形で、規模は長軸4.09m・短軸1.97m・深さ0.12mであった。

長軸方向は、N-84°-Wであった。南壁中央と北

東隅に、径0.3m・深さ0.2~0.27mの小穴を3基検出した。

遺構の切り合い関係は、第61・62・72号土壌より古かった。

1は、須恵器 (S) の椀である。2は、須恵器 (S) の高台付椀である。3・4は、須恵器 (HS) の高台付椀である。5から8は、須恵器 (NS) の高台付椀である。1は底部のみである。2は底部、3は口縁部と高台、4から7は口縁部が欠損している。8は底部のみである。6は内面のみ黒色処理が施されている。

9は、灰釉陶器の高台付椀である。底部のみである。

10から12は、土師器の甕である。13から14は、高台付鉢である。15は、須恵器 (S) の甕である。16から23は、土鍾である。10は胴部中位以下、15は口縁部と胴部中位以下が欠損している。11・12は脚部のみ、13・14は高台のみである。

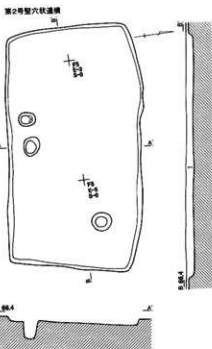
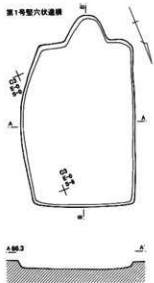
第3号竪穴状遺構 (第741図)

S・T-17グリッドに確認した。

周辺は、住居跡・土壌・小穴などが比較的密集し、また覆土が地山と類似していたため確認に手間取った。

形状は、北壁が短い台形で、規模は長軸5.57m・短軸2.3m・深さ0.24mであった。

第741図 第1～4号竪穴状遺構

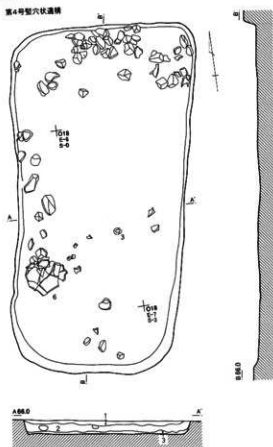
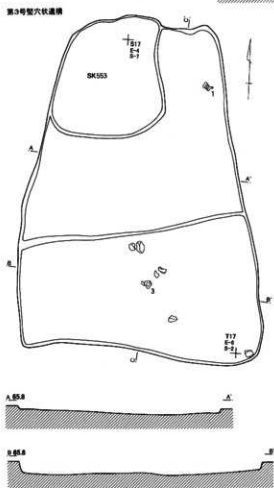


第1号竪穴状遺構
 1 黒褐色土 黄土粒子を多量に含み、炭化粒子を少量含む
 2 暗褐色土 黄土粒子を微量含み、白色粒子を多量に含む

第2号竪穴状遺構
 1 暗褐色土 粘土、炭化物、目録石を多量に含む
 砂質

第3号竪穴状遺構
 1 暗褐色土 粘土、炭化物を少量含む 粘質あり
 2 暗褐色土 粘土、炭化物を少量含む (砂利層)
 3 暗褐色土 目録石を少量含む 粘質あり
 4 暗褐色土 炭化物を少量含む 粘質あり

第4号竪穴状遺構
 1 黒色土 粘土、炭化物、目録石を多量に含む
 2 暗褐色土 粘土、炭化物を少量含む
 3 黒褐色土 粘土、炭化物を微量含む 粘質あり



0 2m

長軸方向は、 $N-0^{\circ}-E$ であった。

南側が、長さ4m・幅2.17mにわたって一段低くなっていた。

遺構の切り合い関係は、第553号土壌より古かった。

南側の一段低い部分から、須恵器坏(3)が出土している。

第596表 第1号竪穴遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	胴	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	碗	NS				5.9	B, D, E	良好	R	灰白	40	
2	高台付碗	HS	15.4	6.2		6.5	B, C, E	良好	R	外-淡橙。内-淡黄橙		底部-50。体・口縁-10
3	高台付碗	NS				6.4	B, D	良好	L	灰	25	
4	高台付碗	HS	12.2	4.1		6.2	B, D, E	良好	R	淡橙。底部内面-黒	30	
5	高台付碗	HS				6.1	B, C	良好	R	明灰褐	40	
6	高台付碗	HS				6.0	B, D	良好	R	灰褐	50	
7	輪花付高台付碗	K	16.4				B	良好		淡灰。軸はくらい緑	20	
8	羽A I a 口	HS	20.3		25		B, D, E	良好		外-暗灰褐。内-暗黄褐	20	

第597表 第2号竪穴遺構出土遺物観察表

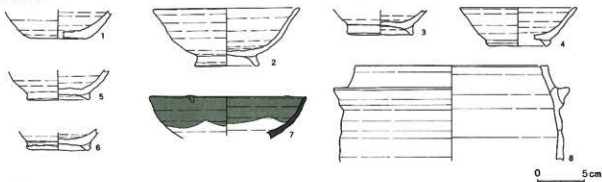
番号	器種	種別	口径	器高	胴	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	碗	S				5.9	B, C, E	良好	R	灰	10	
2	高台付碗	S	14.1	7.0		7.8	B	良好	L	灰白	20	
3	高台付碗	HS					B, C	やや不良	R	明褐	20	底部-60。体・口縁-10
4	高台付碗	HS				5.5	B	普通	R	褐灰	20	
5	高台付碗	NS				6.0	B, D, E	普通	R	灰白	20	
6	高台付碗	NS				6.1	B, E	良好	R	褐灰	10	
7	高台付碗	NS				5.8	B, C	普通	L	外-黄灰。内-灰黄	20	
8	高台付碗	NS				6.0	B, D	良好	R	にぶい黄	10	
9	高台付碗	K				6.6	B	良好		淡灰	20	転用碗として
10	甕A IV C	H	20.7				B, D, E	普通		黄橙	10	口縁部のみ
11	台付甕底部	H				6.0	B, C	良好		にぶい橙	20	
12	台付甕底部	H				7.6	B, D	普通		にぶい橙	20	
13	高台付鉢	H				14.2	B, E	良好		暗赤褐	25	
14	高台付鉢	HS				14.6	B	良好	R	明褐	20	
15	甕	S					B	良好		暗黒褐	10	口縁部のみ
	碗	HS	11.0	4.5		5.5	B, C, E	普通		灰黄	100	

第598表 竪穴遺構出土土錘観察表

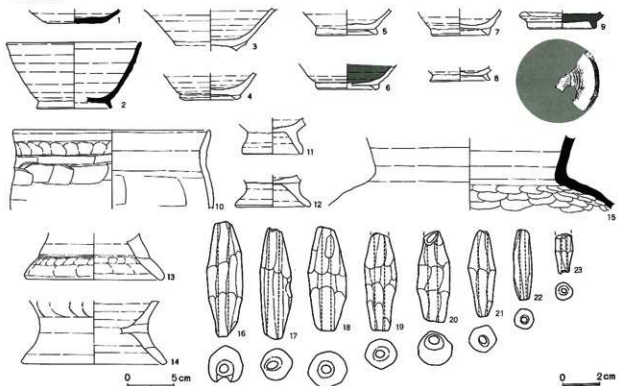
番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
16	浅黄	60	6.0	1.8	0.4	16.0	C 1	VI a	279	
17	暗褐	100	6.0	1.7	0.6	15.2	C 1	I a	280	
18	灰	100	5.5	2.1	0.5	19.6	C 1	I a	281	
19	浅黄	80		1.7	0.5	11.1	C 1	II a	282	
20	黄橙	100		1.9	0.5	14.6	C 1	I b	283	
21	浅黄	100	4.6	1.4	0.4	6.8	C 1	I b	284	
22	浅黄	100	3.7	1.0	0.3	3.6	C 2	III b	583	
23	黄	30		0.9	0.3	1.5	C 2	I b	584	

第742图 第1~3号竖穴状遺構出土遺物

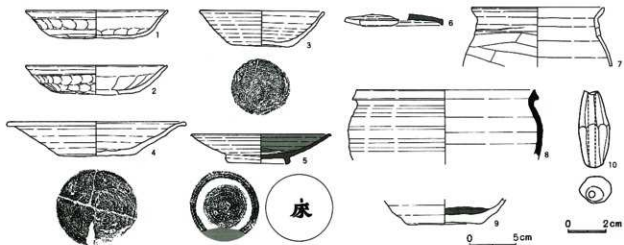
竖穴状遺構1



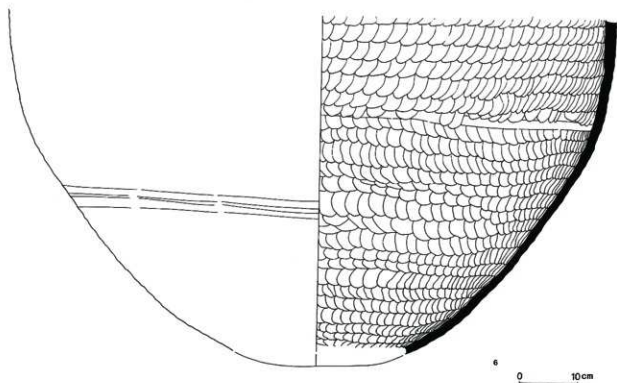
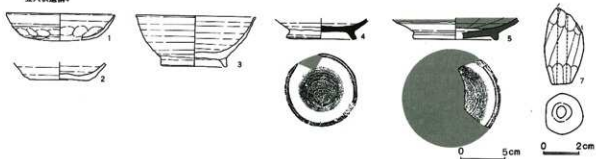
竖穴状遺構2



竖穴状遺構3



第743図 第4号竪穴状遺構出土遺物
竪穴状遺構4



1・2は、土師器の皿である。3は、須恵器 (NS) の碗である。4は、須恵器 (NS) の皿である。9は、須恵器 (HS) の碗で、内面に漆と思われる黒色の付着物がみられた。2は底部が欠損している。

5は、灰粘陶器の高台付皿である。底部外面に墨書「床」がみられる。6は、灰粘陶器の蓋である。7は、土師器の甕である。8は、須恵器 (S) の鉢である。6は口縁部破片である。7は胴部中位以下、8は胴部下位以下が欠損している。

10は、土鏝である。

第4号竪穴状遺構 (第741図)

O-18グリッドに確認した。

周辺は、住居跡・掘立柱建物跡・土壇・溝などの遺構が密集し、砂利層が確認面であったため、確認に手間取った。

形状は長方形で、規模は長軸5.76m・短軸2.42m・深さ0.23mであった。

長軸方向は、N-12°-Eであった。

遺構の切り合い関係はみられなかった。

中央やや南寄りより須恵器の高台付碗 (3) が、南西隅から須恵器の大甕 (6) が出土した。

1は、土師器の坏Aである。底部が欠損している。

2は、須恵器(NS)の椀である。口縁部が欠損している。

3は、須恵器(HS)の高台付椀である。4は、須恵器(S)の高台付椀である。4は底部のみである。

5は、灰釉陶器の高台付椀である。底部のみである。

6は、須恵器(S)の大甕である。胴部下位のみである。

7は、土錘である。

第5号壺穴状遺構(第744図)

R-8グリッドに確認した。

第1号建物地業跡の南側に位置した。周辺は小穴、溝などの遺構が密集し、覆土も類似し、確認に手間取った。

形状は長方形で、規模は長軸1.97m・短軸1.27m・深さ0.06mととても浅かった。

長軸方向は、N-81°-Eであった。

北西隅に径0.4m・深さ0.13m、南東隅に径0.2m・

第599表 第3号壺穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	皿	H	15.0	2.9		8.5	B, D, E	普通		淡橙	100	
2	皿	H	15.0	3.1		7.7	B, D, E	普通		橙	30	
3	椀	NS	13.0	3.7		6.0	B, C, I	良好	R	灰白	70	
4	皿	NS	18.6	3.6		7.7	B, C	良好	R	黄灰	80	
5	高台付皿	K	14.4	3.1		6.3	B, D	良好		淡灰	50	
6	蓋	K					B, D	良好		淡灰白	10	
7	甕 B II a	H	13.9				C, G, H	良好		橙	15	
8	鉢	S	18.8				B	良好(硬質)		青灰	15	
9	椀	HS				7.5	B, E, G, H	良好		外-灰白、内-黒	70	

第600表 第3号壺穴状遺構出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
10	橙	100	4.0	1.7	0.3	120	-	I a		

第601表 第4号壺穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他
1	坏	A	H	11.8	3.0		7.8	B, D, E	普通	黄褐	20	
2	椀	NS				6.7	B, D	良好	R	灰白	10	
3	高台付椀	HS	8.1	5.6		6.9	B, C, E, I	良好	R	橙	50	
4	高台付椀	S				7.2	B	良好	R	灰	30	
5	高台付椀	K				9.2	B, D	良好		外-灰白 内-オリブ灰	20	
6	大甕	S					B	良好		青灰	20	

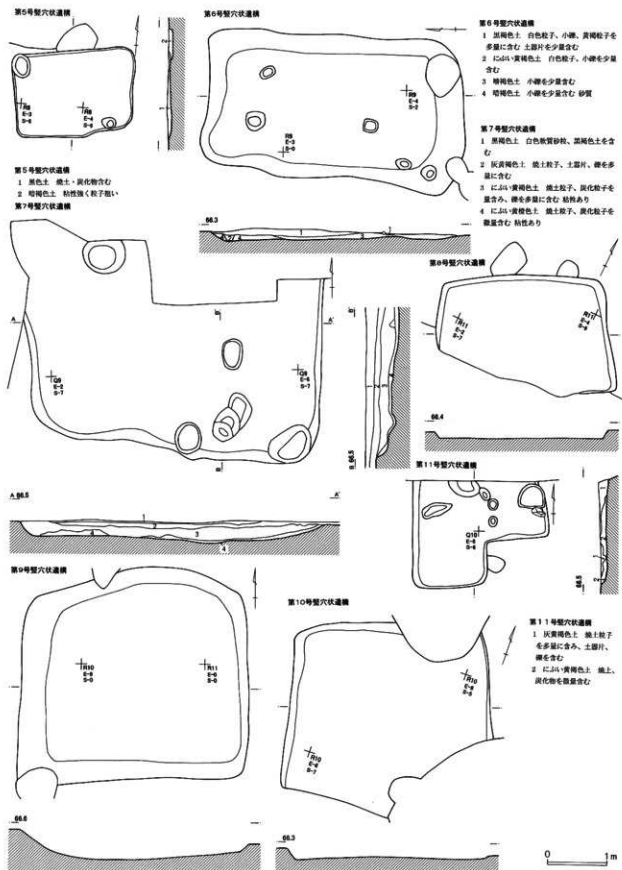
第602表 第4号壺穴状遺構出土土錘観察表

番号	色調	残存率	長さ	径	穴径	重さ(g)	型式	欠損分類	写真番号	出土位置その他
7	橙	50		2.1	0.6	15.4	B 1	III a	89	

第603表 第6号壺穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	轆轤	色調	残存	出土位置その他	
1	坏	A	IV	H	11.8	3.5		7.2	B, E, H	普通	黄橙	20	
2	坏	A	IV	H	12.5	3.1		8.3	B, E, H	普通	暗黄橙	40	

第744图 第5~11号壁穴状遺構



深さ0.08mの小穴二基を検出した。

第1号建物地業跡周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

第6号竪穴状遺構（第744図）

Q・R-9グリッドに確認した。

第2号建物地業跡の東側に位置した。周辺は小穴・溝などの遺構が密集し、覆土も類似し、確認に手間取った。

形状は長方形で、規模は長軸4.3m・短軸2.18m・深さ0.18mであった。壁の立ち上がりは、緩やかであった。

長軸方向は、N-2°-Eであった。

北壁沿い、南西隅に径0.3m~0.45m・深さ0.05m~0.23mの小穴五基を検出した。

第2号建物地業跡の周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

1・2は、土師器の坏ANである。1は底部が欠損している。

3・4は、平瓦である。

第7号竪穴状遺構（第744図）

Q-9グリッドに確認した。

第2号建物地業跡の東側に位置し、北側を砂層採取の攪乱によって破壊されていた。規模などに不明な点が多かった。

推定される形状は方形で、残存した東西の長さは4.91m・深さ0.55mであった。東壁は、緩やかに立ち上がっていた。

長軸方向は、N-86°-Wであった。

南東コーナーおよび中央や西寄りからは、小穴五基を検出した。いずれも楕円形で規模は、長軸0.5m前後、深さは0.09m~0.15mであった。

遺構の切り合い関係はみられなかった。

1から3は、土師器の坏ANである。2は黒色の付着物が口縁部に確認できる。油煙の痕跡と考えられる。

4・6は、須恵器（HS）の皿である。5は、須恵器（S）の皿である。

7は、土師器の三足付香炉である。底部が欠損している。

8から10は、トリベである。

第604表 第6号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
3	平瓦	還元炎	刷り消し	布	2片面取り
4	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-

第605表 第7号竪穴状遺構出土瓦観察表

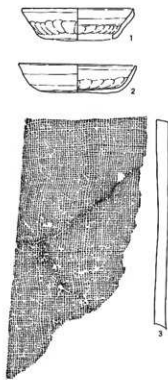
番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
12	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	1片面取り
13	不明	還元炎	刷り消し	布	1片面取り
14	丸瓦	中間	刷り消し	布	1片面取り
15	平瓦	中間	刷り消し	布	1片面取り
16	平瓦	中間	刷り消し	布	-
17	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-

第605表 第7号竪穴状遺構出土遺物観察表

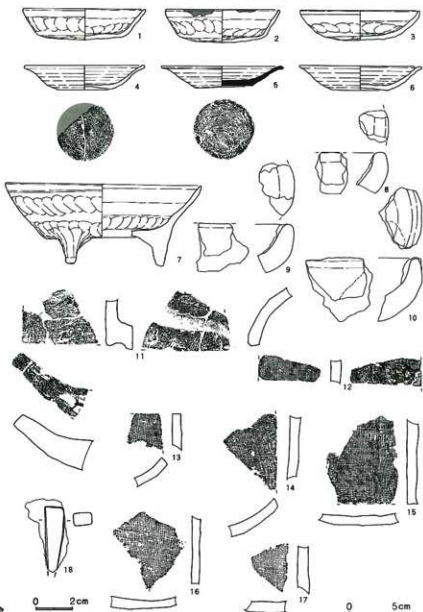
番号	器種	種別	口径	器高	胴径	胎土	焼成	釉輪	色調	残存	出土位置その他
1	坏	A IV	H	13.1	3.4	8.1	普通		暗黄橙	100	
2	坏	A IV	H	12.1	3.5	7.0	普通		黄褐	100	
3	坏	A IV	H	12.2	5.1	3.2	普通		黄褐	30	
4	皿	HS	H S	12.8	2.6	6.0	普通		にぶい橙	40	
5	皿	S	S	12.7	6.3	2.2	良好		黄灰	70	
6	皿	HS	H S	12.7	2.1	6.1	良好		(外)にぶい黄橙、(内)黄灰	60	
7	三足付香炉	H	H	21.2	8.7	11.0	不良		橙	40	
8	トリベ					B, E, H	不良		浅黄橙	5	
9	トリベ					B, E, H	不良		浅黄橙	10	
10	トリベ					B, D, H	不良		浅黄橙	5	

第745図 第6～11号竪穴状遺構出土遺物

竪穴状遺構6



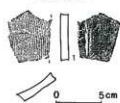
竪穴状遺構7



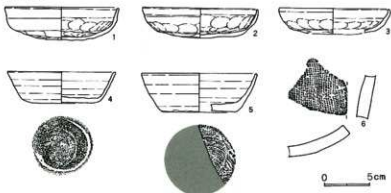
竪穴状遺構8



竪穴状遺構11



竪穴状遺構10



竪穴状遺構9



11は、軒平瓦である。12は、丸瓦である。13から17は、平瓦である。

18は、鉄製の釘である。

第8号竪穴状遺構 (第744図)

R-11グリッドに確認した。

第3号建物地業跡の南西隅に位置し、南側は調査区外となっていたため、全容は明らかにできなかった。周辺は溝・小穴などの遺構が比較的密集していた。

形状は長方形で、規模は長軸2.81m・短軸1.88m・深さ0.15mであった。

長軸方向は、N-61°-Eであった。

第3号建物地業跡周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

1は、棒状鉄製品である。

第9号竪穴状遺構 (第744図)

Q・R-10・11グリッドに確認した。

第2号建物地業跡と第3号建物地業跡の間に位置した。周辺は、土壌・小穴などの遺構が密集し、覆土も類似し確認に手間取った。

形状は方形で、規模は長軸3.72m・短軸3.03m・深さ0.41mであった。壁は、緩やかに立ち上がっていた。

長軸方向は、N-88°-Eであった。

遺構の切り合い関係は、第2・3号建物地業跡周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

1は、平瓦である。

第10号竪穴状遺構 (第744図)

R-10グリッドに確認した。

第2号建物地業跡の南東隅に位置した。周辺は、土壌・小穴などの遺構が比較的密集していた。

形状は方形で、規模は長軸3.30m・短軸2.57m・深さ0.18mであった。

長軸方向は、N-73°-Eである。

遺構の切り合い関係は、第6号土壌より新しかった。そのほか第2号建物地業跡周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

1から3は、土師器の坏AIVである。4は、須恵器(HS)の碗である。5は、須恵器(NS)の碗である。3・5は底部が欠損している。

6は、平瓦である。

第11号竪穴状遺構 (第744図)

Q-10グリッドに確認した。

第2号建物地業跡と第3号建物地業跡の間に位置し、北側を砂利採取の攪乱によって破壊されていた。形状や規模など不明な点が多かった。周辺は、土壌・小穴などの遺構が密集し、覆土も類似し確認に手間取った。

第607表 第9号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	平瓦	酸化表	磨り消し	布	1面取り

第609表 第10号竪穴状遺構出土瓦観察表

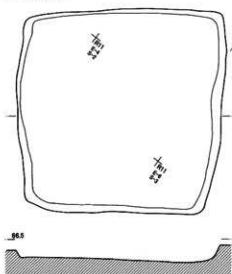
番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
6	平瓦	酸化表	磨り消し	布	-

第608表 第10号竪穴状遺構出土遺物観察表

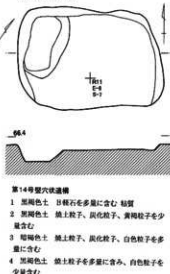
番号	器種	種別	口径	器高	胴径	底径	胎土	焼成	輪轆	色調	残存	出土位置その他
1	坏	A IV	H	122	3.5	6.3	B, E, H	普通	通	黄 褐	100	
2	坏	A IV	H	123	3.2	6.8	B, E, H	普通	通	黄 白	70	
3	坏	A IV	H	112	2.3		B, E, H	普通	通	黄 橙	20	
4	碗	HS		11.6	3.4	6.6	B	良好		にぶい黄橙	60	
5	碗	NS		12.3	4.2	8.0	B	良好		灰 白	30	

第746図 第12~14号竪穴状遺構・出土遺物

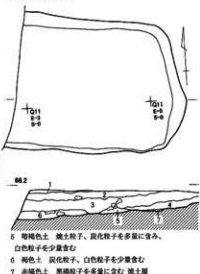
第12号竪穴状遺構



第13号竪穴状遺構



第14号竪穴状遺構



第14号竪穴状遺構

- 1 黒褐色土 呂鉄石を多量に含む 粘質
- 2 黒褐色土 焼土粒子、炭化粒子、黄褐色粒子を少量含む
- 3 暗褐色土 焼土粒子、炭化粒子、白色粒子を多量に含む
- 4 黒褐色土 焼土粒子を多量に含む、白色粒子を少量含む

第14号竪穴状遺構

- 5 暗褐色土 焼土粒子、炭化粒子を多量に含む、白色粒子を少量含む
- 6 褐色土 炭化粒子、白色粒子を少量含む
- 7 赤褐色土 黒褐色土を多量に含む 焼土層

竪穴状遺構12



0 5cm

0 2cm

竪穴状遺構14



0 5cm

0 2cm

第610表 第13号竪穴状遺構出土遺物観察表

番号	器種	種別	口径	器高	鈎	底径	胎土	焼成	軸轆	色調	残存	出土位置その他
1	坏	B	H	12.1	4.7	5.7	B, E, H	普通		橙	40	
2	坏	B	H	13.1	3.7	6.3	B, E, H	普通		黄橙	40	R-11-4

検出された部分の形状はL字状で、規模は東西方向2.24m・深さ0.15mであった。

長軸方向は、N-90°-Eであった。

遺構内から、不整形な掘り込みや、径0.25m前後の小形の小穴を検出した。

第2・3号建物地業跡周辺の小穴と重複関係がみられたが、新旧関係は明らかにできなかった。

1は、平瓦である。

第12号竪穴状遺構（第746図）

R-11グリッドに確認した。

第3号建物地業跡の南西隅に位置した。周辺は、溝や小穴などの遺構が比較的密集していた。

形状は方形で、規模は長軸3.3m・短軸2.97m・深さ0.27mであった。

長軸方向は、N-35°-Wであった。

遺構の切り合い関係は、第28号溝より新しかった。

第13号竪穴状遺構（第746図）

R-11グリッドに確認した。

第3号建物地業跡の南側に位置し、南半分が調査区外であったため、不明な点が多かった。

推定される形状は長方形で、規模は東西方向2.33m・深さ0.12mであった。

第611表 第11号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	-

第612表 第13号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
3	丸瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り

第613表 第14号竪穴状遺構出土瓦観察表

番号	種類	焼成	凸面	凹面	側面
1	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	1面面取り
2	平瓦	酸化炎	刷り消し	布	2面面取り
3	平瓦	還元炎	刷り消し	布	-
4	丸瓦	還元炎	刷り消し	布	-

長軸方向は、N-87°-Wであった。

北西隅に長軸1.15m・短軸0.76m・深さ0.18mの不正長方形の掘り込みがあった。

遺構の切り合い関係はみられなかった。

1・2は、土器の坏Bである。2は底部が欠損している。

3は、丸瓦である。

4は、鉄釘である。

第14号竪穴状遺構（第746図）

P・Q-11グリッドに確認した。

第3号建物地業跡の北側に位置した。周辺は、砂利採取の擾乱が激しく、第14号竪穴状遺構も西側を破壊されていた。

形状は、長方形と推定した。南北方向の長さは、2.12m・深さ0.42mであった。

長軸方向は、N-82°-Wであった。

遺構内から第14号鍛冶炉（第IV章3-(9)鍛冶炉参照）を検出した。

遺構の切り合い関係はみられなかった。

1から4は、平瓦である。

5・6は、棒状鉄製品である。7は、板状鉄製品である。

以上竪穴状遺構は、一般的な竪穴式住居跡と比較すると、カマドが見られないこと、不整形であること、掘り込みが浅いこと等から竪穴式住居跡やいっしょの土塊とは区別して掲載した。

これらは、床面が一定しないことや、小形であること、比較的遺物の出土量が少ないことなどから、全体に居住性が低かったと判断した。この竪穴状遺構の機能としては、様々な推定が可能であるが、ここでは、調査時の所見から、以下まとめておくこととした。

まず1から4号竪穴状遺構であるが、これらは単独に存在し、比較的規模も大きい。しかし掘り込みが浅く不整形であることなどから、竪穴式住居跡の造作途中で放棄したか、あるいは簡易な建物跡であろうかと